

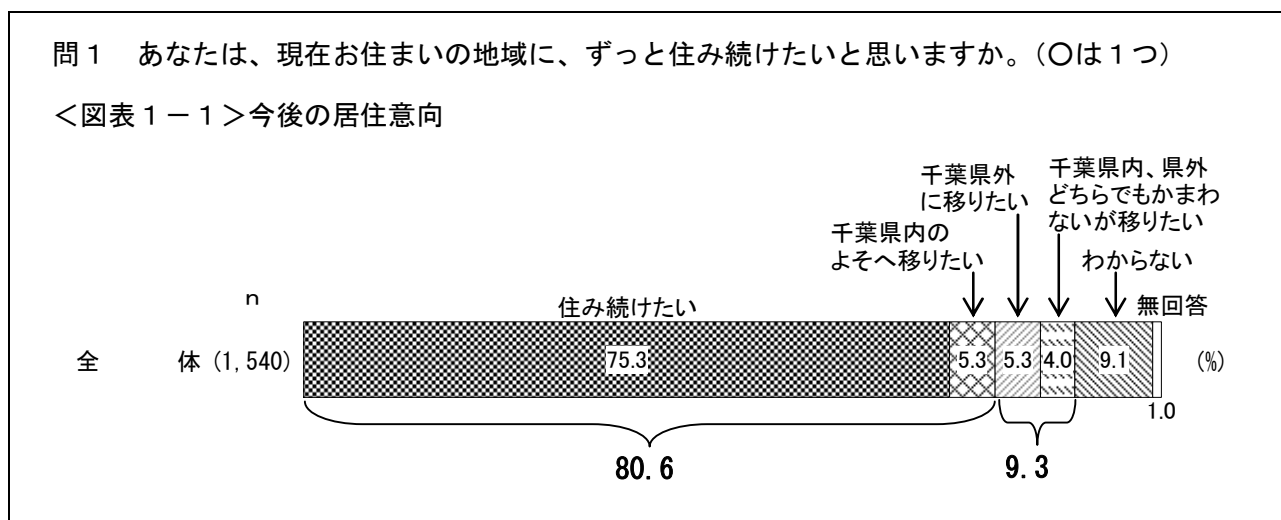
調 査 の 結 果

調査結果の解説

1 環境と生活について

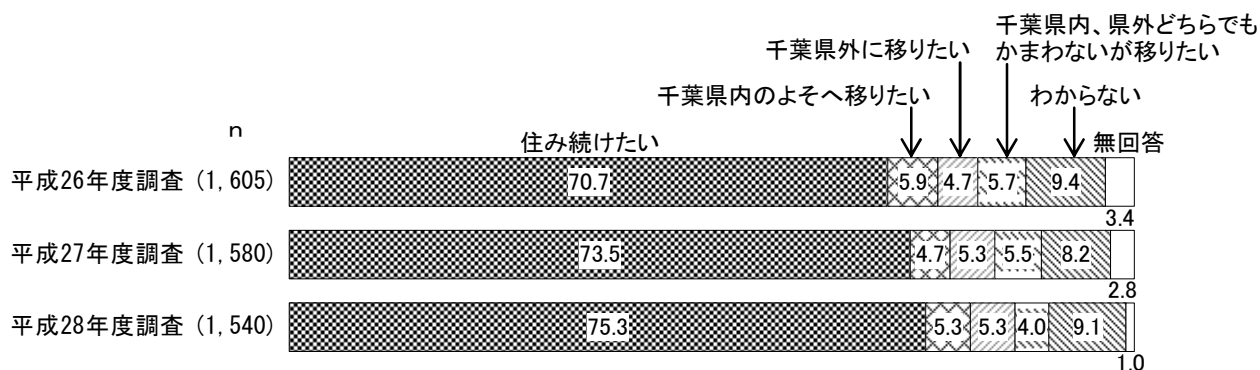
(1) 今後の居留意向

◇「住み続けたい」が7割台半ば



現在お住まいの地域の今後の居留意向を聞いたところ、「住み続けたい」(75.3%)が7割台半ばで、「千葉県内のよそへ移りたい」(5.3%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい』(80.6%)が8割で高くなっている。一方、「千葉県外に移りたい」(5.3%)と「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」(4.0%)を合わせた『移りたい』(9.3%)は約1割である。(図表1-1)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



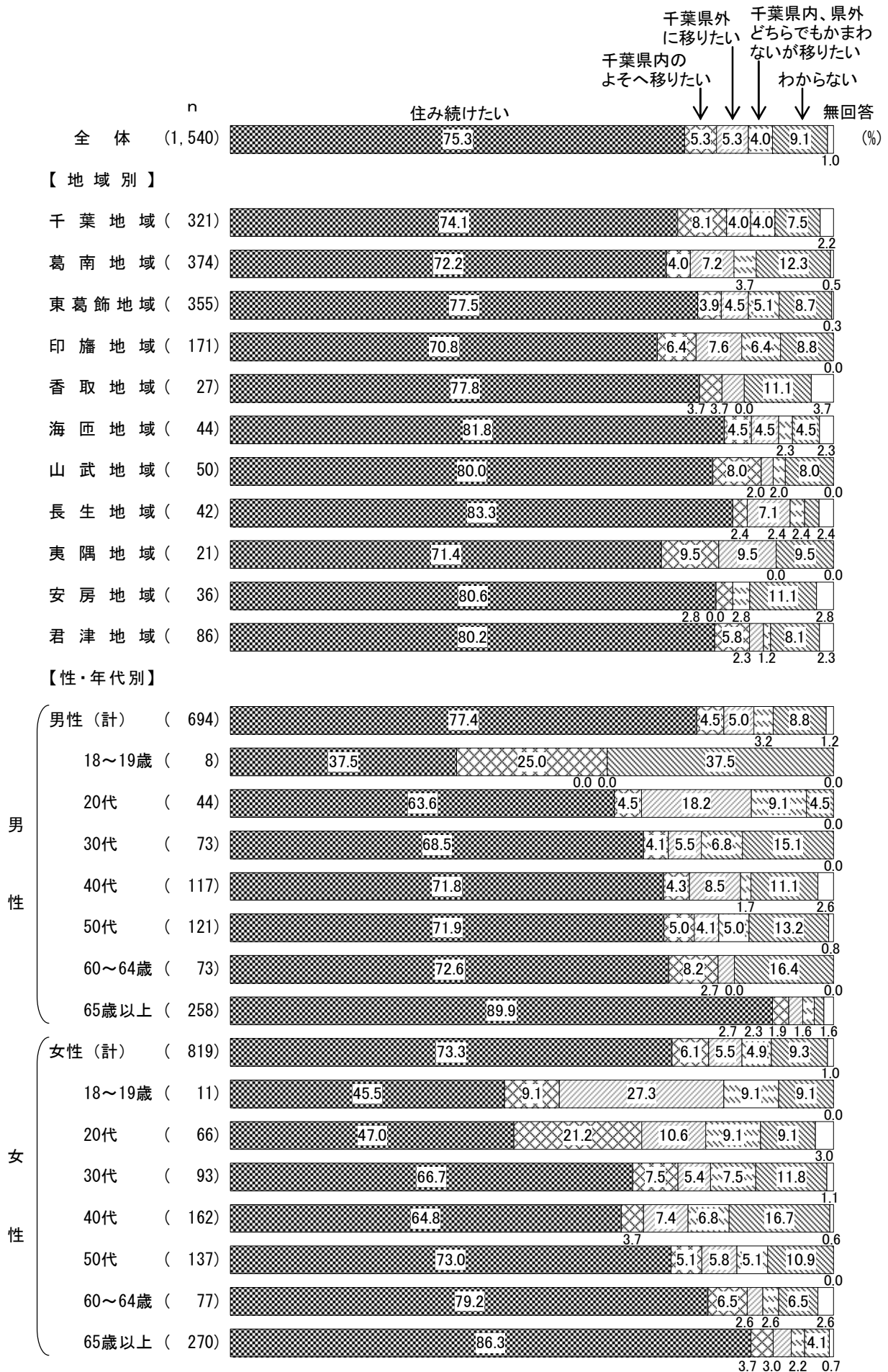
【地域別】

地域別にみると、「住み続けたい」は“長生地域”(83.3%)と“海匝地域”(81.8%)が8割を超えて、“安房地域”(80.6%)と“君津地域”(80.2%)が8割で高くなっている。(図表1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「住み続けたい」は男性の65歳以上(89.9%)と女性の65歳以上(86.3%)が8割台で高くなっている。(図表1-2)

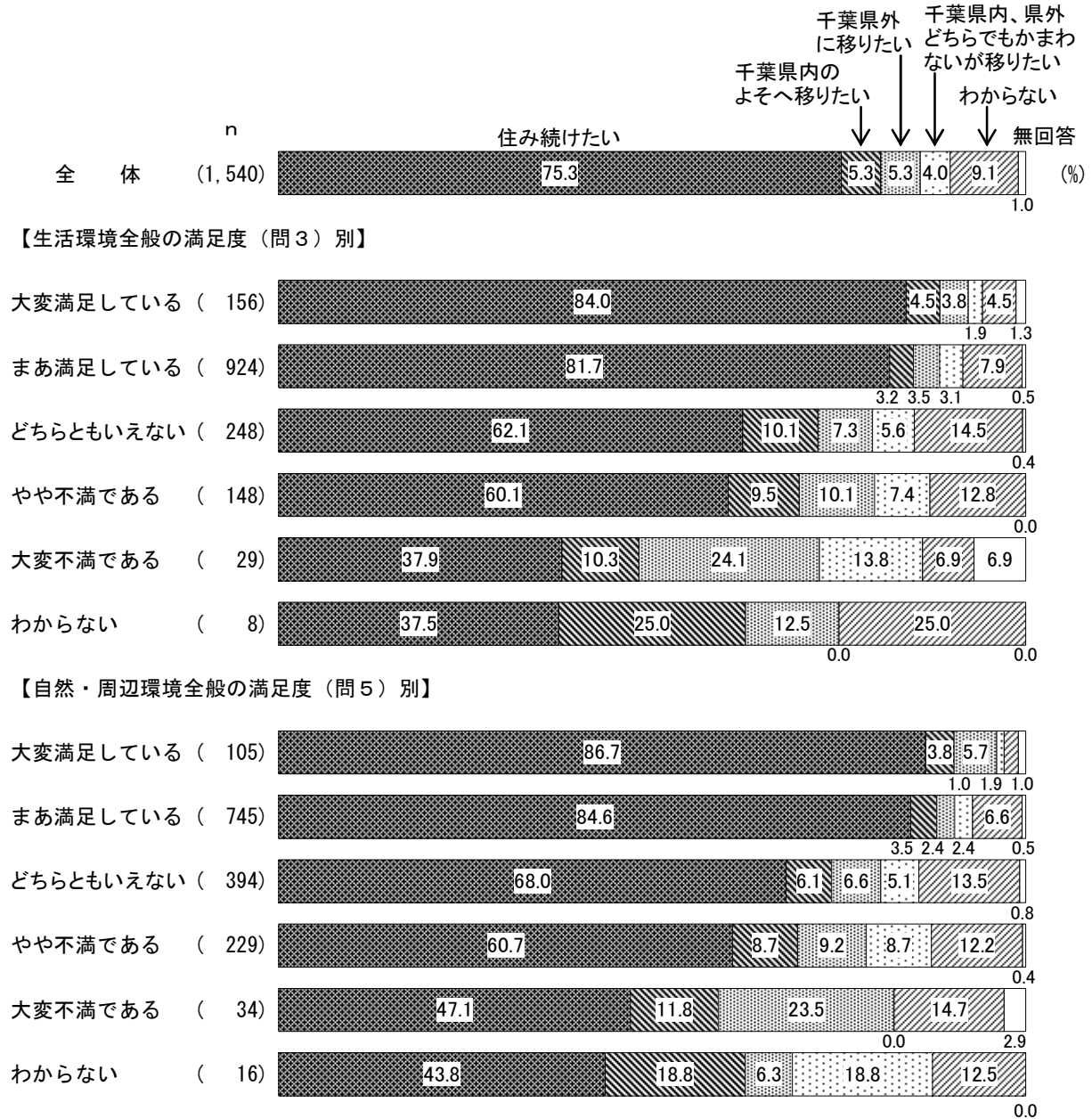
<図表1-2>今後の居留意向/地域別、性・年代別



<今後の居留意向と各環境の満足度>

居留意向について、今回の調査における、問3「生活環境全般の満足度」と問5「自然・周辺環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度、自然・周辺環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答の割合が高くなる傾向にある。(図表1-3)

<図表1-3>今後の居留意向と各環境の満足度



(1-1) 住み続けたい理由

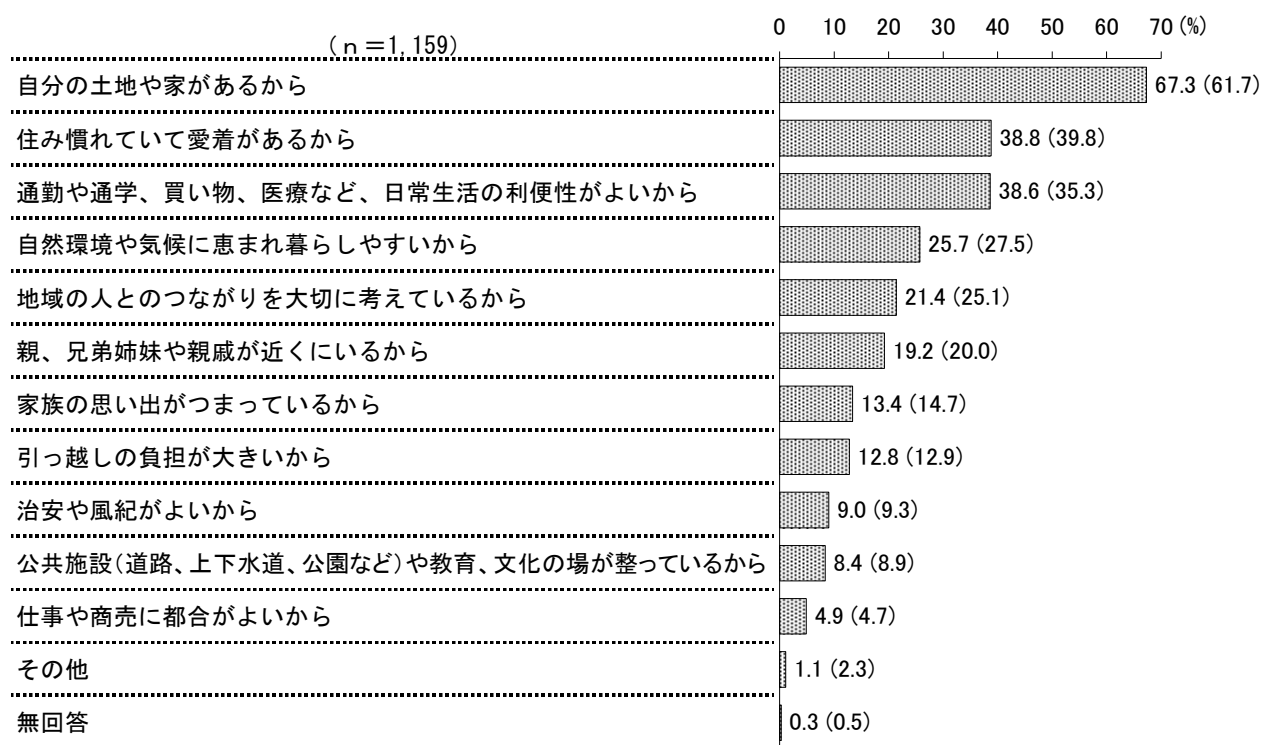
◇「自分の土地や家があるから」が約7割

(問1で「住み続けたい」とお答えの方に)

問1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

(○は3つまで)

<図表1-4>住み続けたい理由(3つまでの複数回答)



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=1,161

「住み続けたい」と回答した1,159人を対象に、住み続けたい理由を3つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」(67.3%)が約7割で最も高く、以下、「住み慣れていて愛着があるから」(38.8%)、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」(38.6%)が続く。(図表1-4)

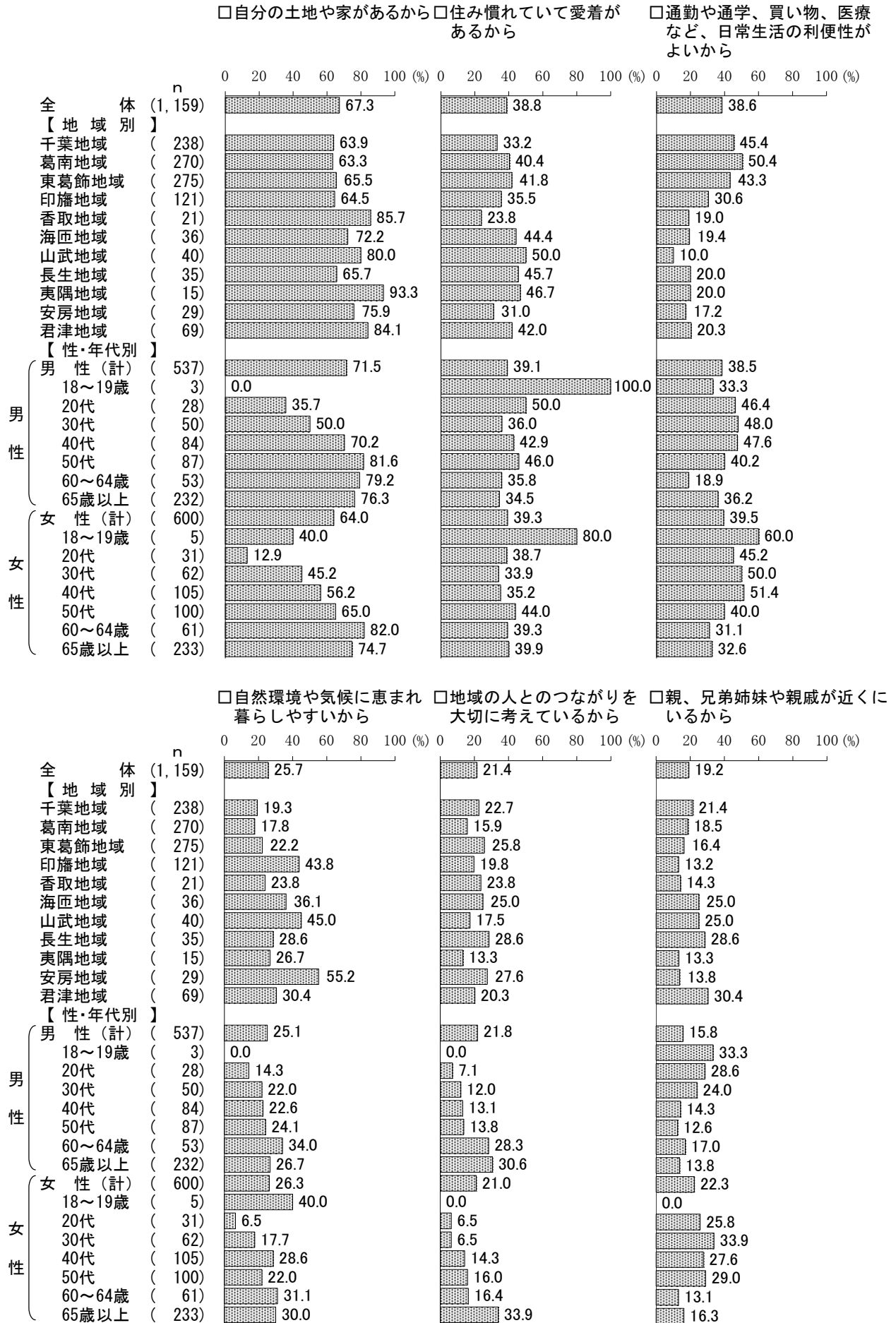
【地域別】

地域別にみると、「自分の土地や家があるから」は“夷隅地域”(93.3%)が9割を超えて、“香取地域”(85.7%)と“君津地域”(84.1%)が8割台半ばで高くなっている。「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”(50.4%)が5割で高くなっている。「自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから」は“安房地域”(55.2%)が5割台半ばで高くなっている。(図表1-5)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は男性の50代(81.6%)と女性の60~64歳(82.0%)が8割を超えて高くなっている。(図表1-5)

<図表1-5>住みたい理由／地域別、性・年代別（上位6項目）



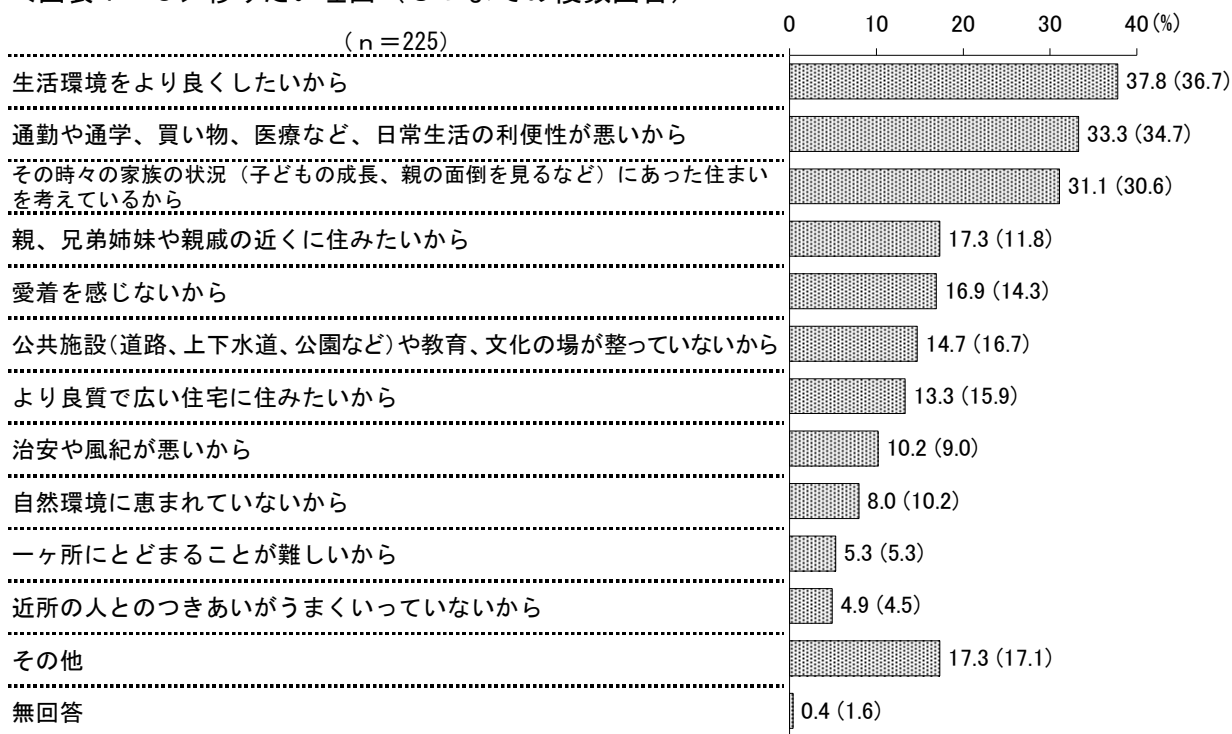
(1-2) 移りたい理由

◇「生活環境をより良くしたいから」が約4割

(問1で「千葉県内のよそへ移りたい」「千葉県外に移りたい」「千葉県内、県外どちらでもかまわな
ないが移りたい」のいずれかをお答えの方に)

問1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

<図表1-6>移りたい理由(3つまでの複数回答)



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=245

「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわな
ないが移りたい」と回答した225人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「生活環
境をより良くしたいから」(37.8%)が約4割で最も高く、以下、「通勤や通学、買い物、医療など、
日常生活の利便性が悪いから」(33.3%)、「その時々家族の状況にあった住まいを考えているか
ら」(31.1%)が続く。(図表1-6)

【地域別】

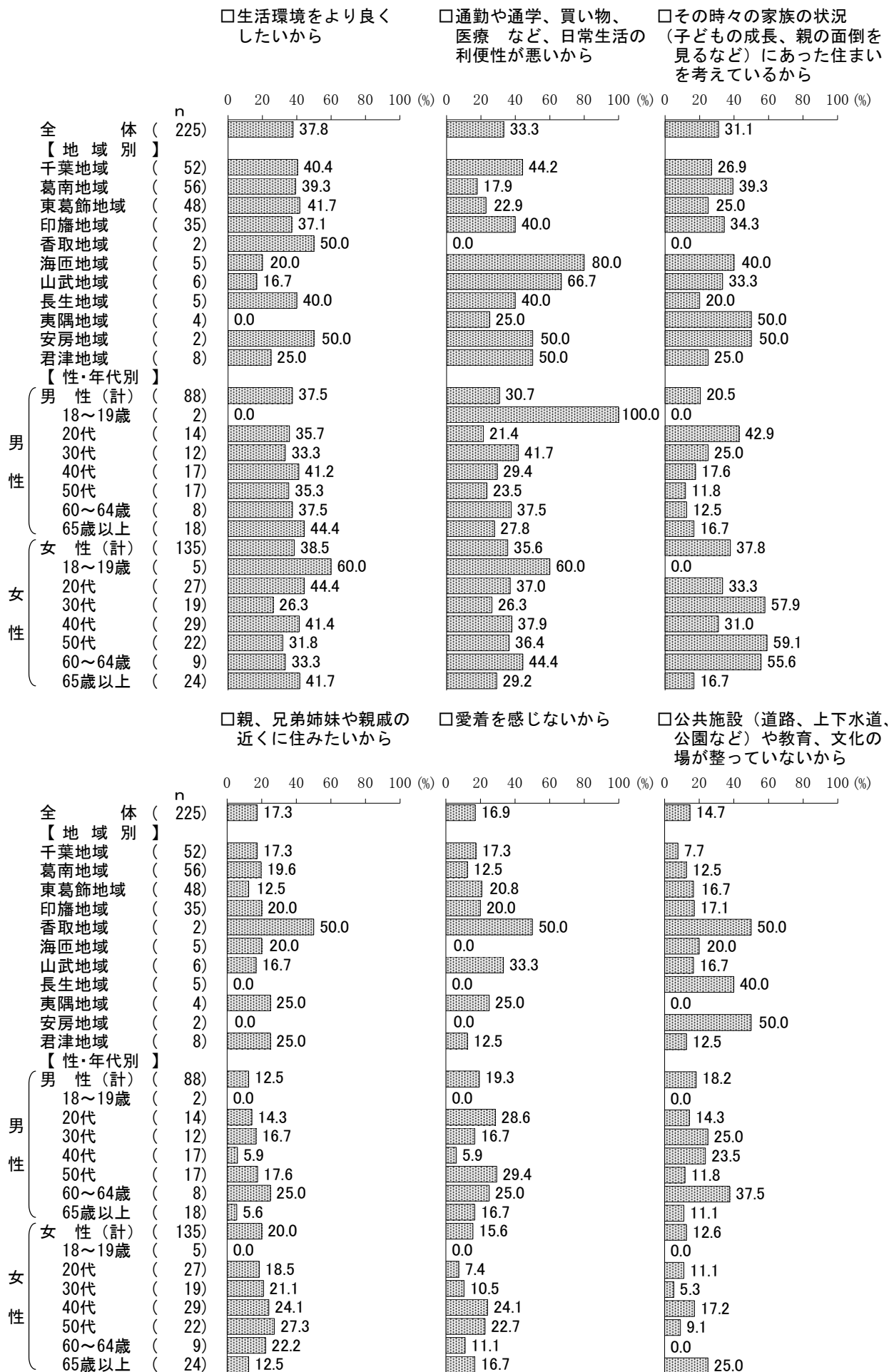
地域別にみると、「通勤や通学、買い物、医療 など、日常生活の利便性が悪いから」は“海
匝地域”(80.0%)、“山武地域”(66.7%)が高くなっている。(図表1-7)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「その時々家族の状況(子どもの成長、親の面倒を見るなど)にあつた
住まいを考えているから」は男性の20代(42.9%)が4割を超えて、女性の30代(57.9%)、50代
(59.1%)が約6割で高くなっている。(図表1-7)

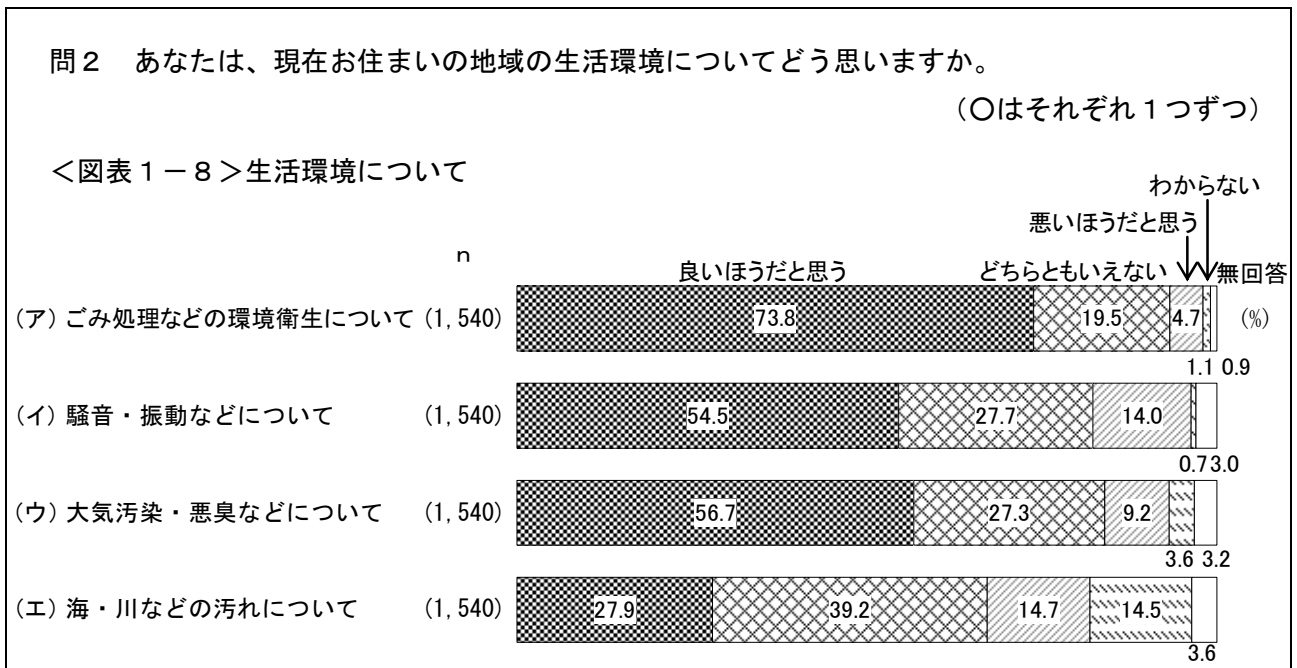
(※サンプル数の少ない属性の分析については、「報告書の見方」を参照)

<図表1-7>移りたい理由/地域別、性・年代別（上位6項目）



(2) 生活環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈ごみ処理などの環境衛生について〉で7割を超える



生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈ごみ処理などの環境衛生について〉(73.8%)で7割を超えて高くなっている。以下、〈大気汚染・悪臭などについて〉(56.7%)と〈騒音・振動などについて〉(54.5%)が5割台半ばとなっている。

一方、「悪いほうだと思う」は、〈海・川などの汚れについて〉(14.7%)と〈騒音・振動などについて〉(14.0%)が1割台半ばとなっている。(図表1-8)

【地域別】

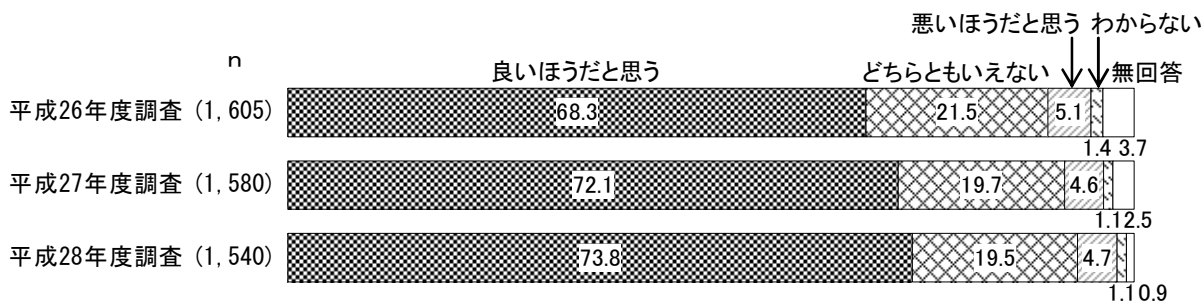
地域別にみると、〈騒音・振動などについて〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(69.4%)が約7割で高くなっている。〈大気汚染・悪臭などについて〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(77.8%)が約8割で高くなっている。〈海・川などの汚れについて〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(47.2%)が約5割で高くなっている。(図表1-9)

【性・年代別】

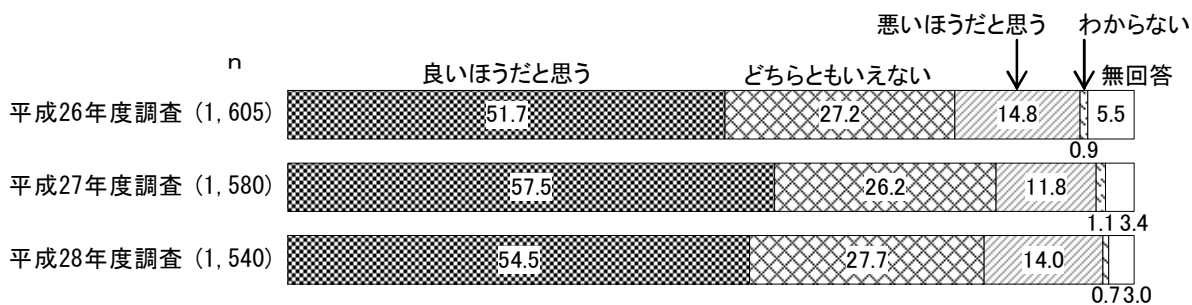
性・年代別にみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(83.3%)と女性の65歳以上(81.1%)が8割を超えて高くなっている。〈騒音・振動などについて〉において、「良いほうだと思う」は男性の60~64歳(61.6%)が6割を超えて、65歳以上(60.1%)が6割で高くなっている。〈大気汚染・悪臭などについて〉において、「良いほうだと思う」は男性の50代(66.1%)と女性の60~64歳(66.2%)が6割台半ばで高くなっている。〈海・川などの汚れについて〉において、「良いほうだと思う」は男性の50代(40.5%)が4割で高くなっている。(図表1-9)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

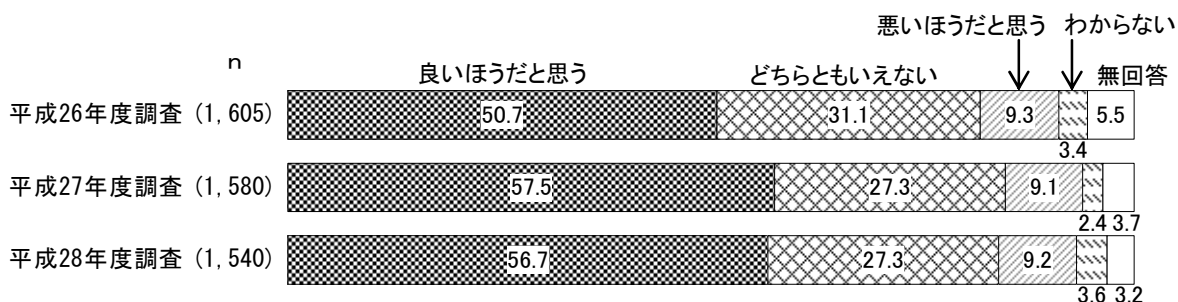
(ア) ごみ処理などの環境衛生について



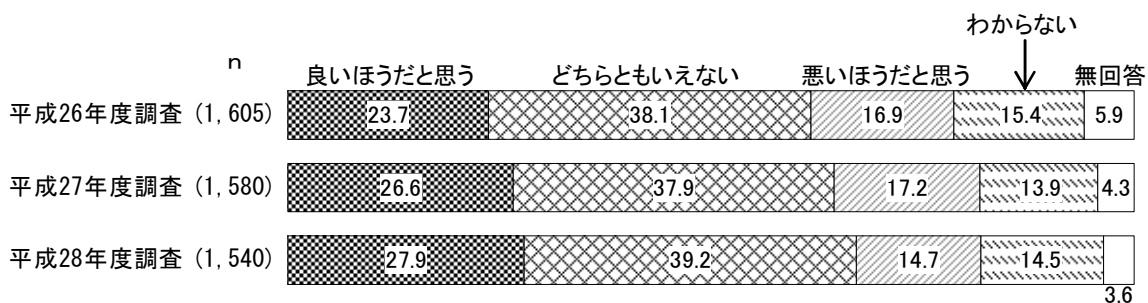
(イ) 騒音・振動などについて



(ウ) 大気汚染・悪臭などについて

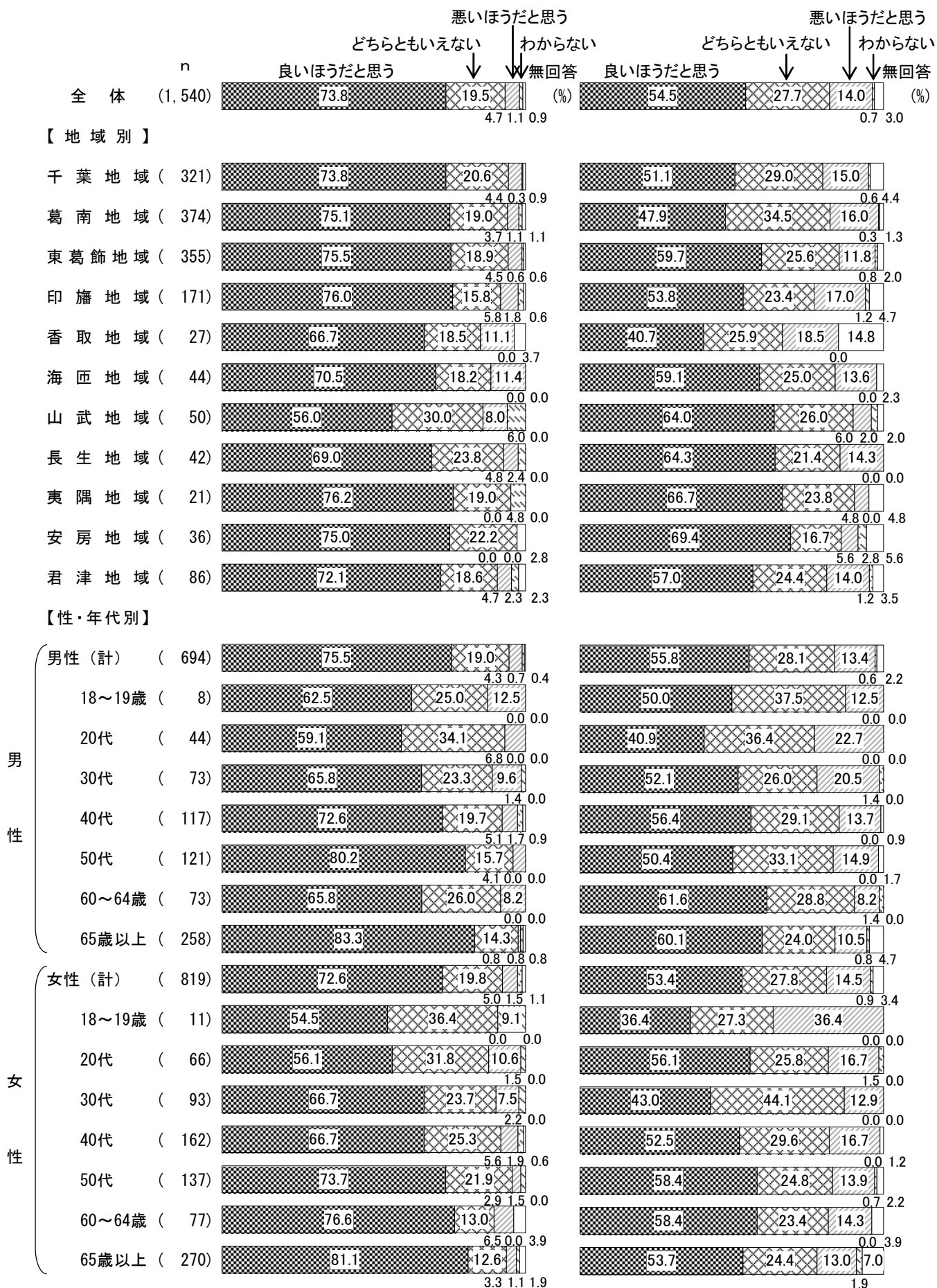


(エ) 海・川などの汚れについて



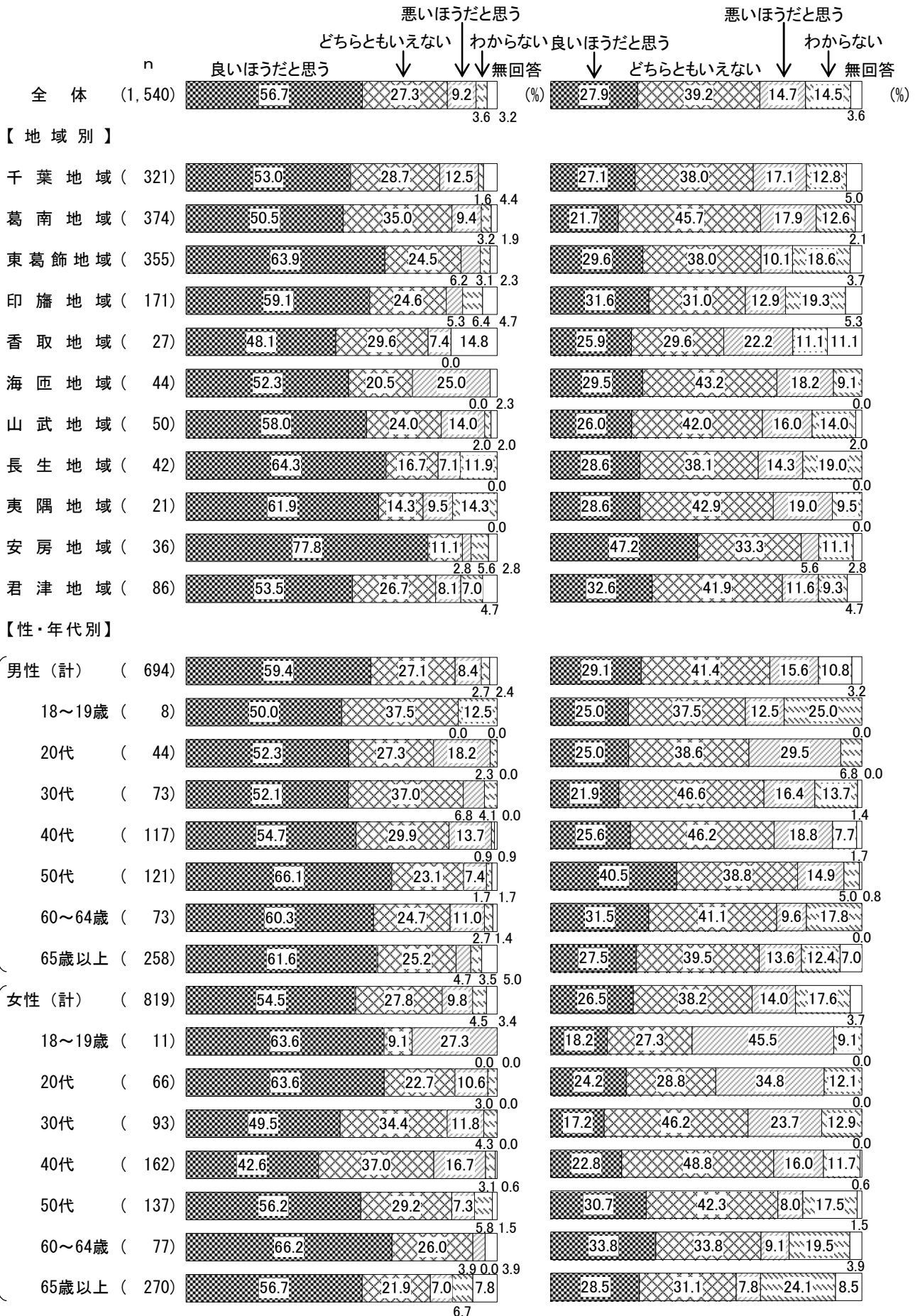
<図表1-9>生活環境について/地域別、性・年代別

(ア) ごみ処理などの環境衛生について (イ) 騒音・振動などについて



(ウ) 大気汚染・悪臭などについて

(エ) 海・川などの汚れについて



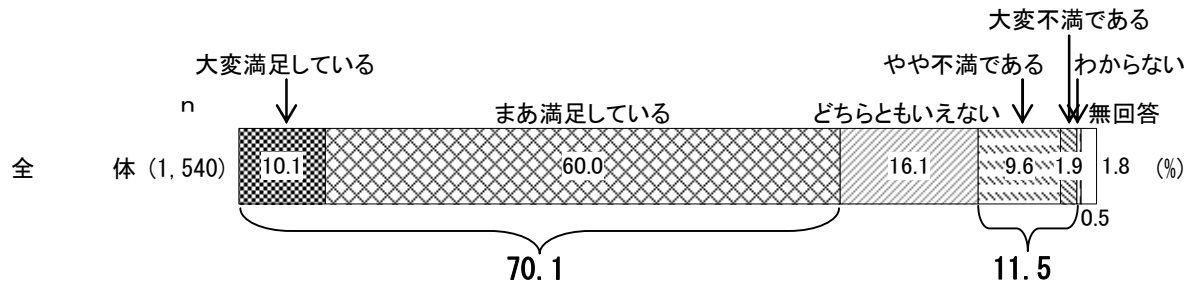
(3) 生活環境全般の満足度

◇『満足している』が7割

問3 あなたは、問2の(ア)～(エ)のような生活環境全般についてどう感じですか。

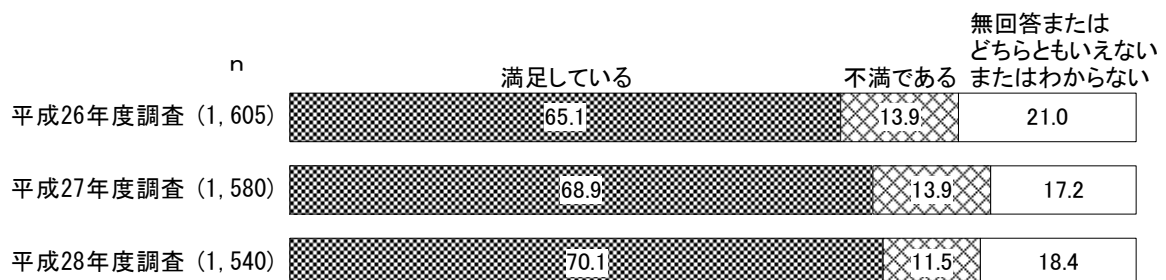
(○は1つ)

<図表1-10>生活環境全般の満足度



生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(10.1%)と「まあ満足している」(60.0%)を合わせた『満足している』(70.1%)が7割で高くなっている。一方、「やや不満である」(9.6%)と「大変不満である」(1.9%)を合わせた『不満である』(11.5%)は1割を超えている。(図表1-10)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



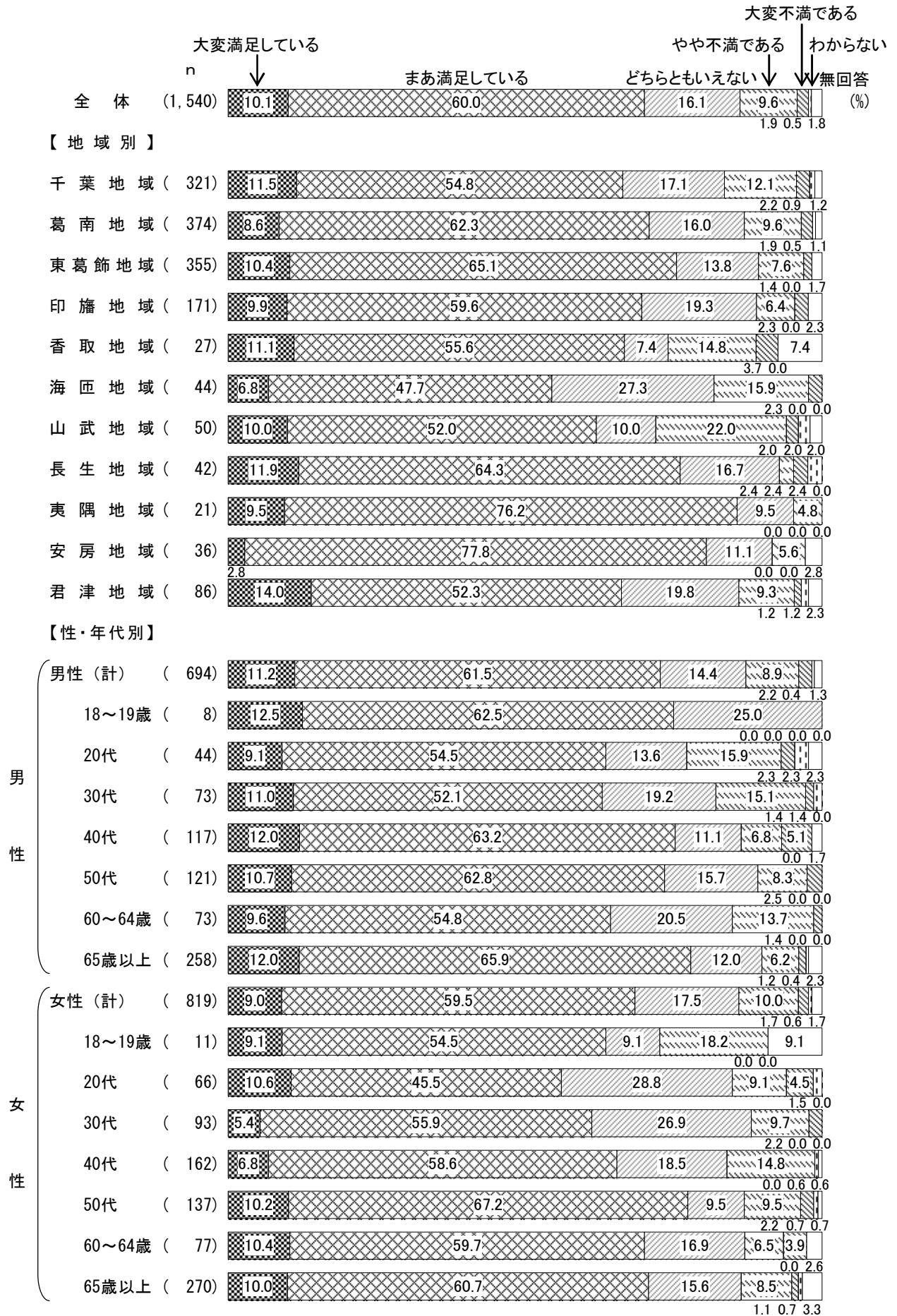
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“夷隅地域”(85.7%)が8割台半ばで高くなっている。一方、『不満である』は“山武地域”(24.0%)が2割台半ばで高くなっている。(図表1-11)

【性・年代別】

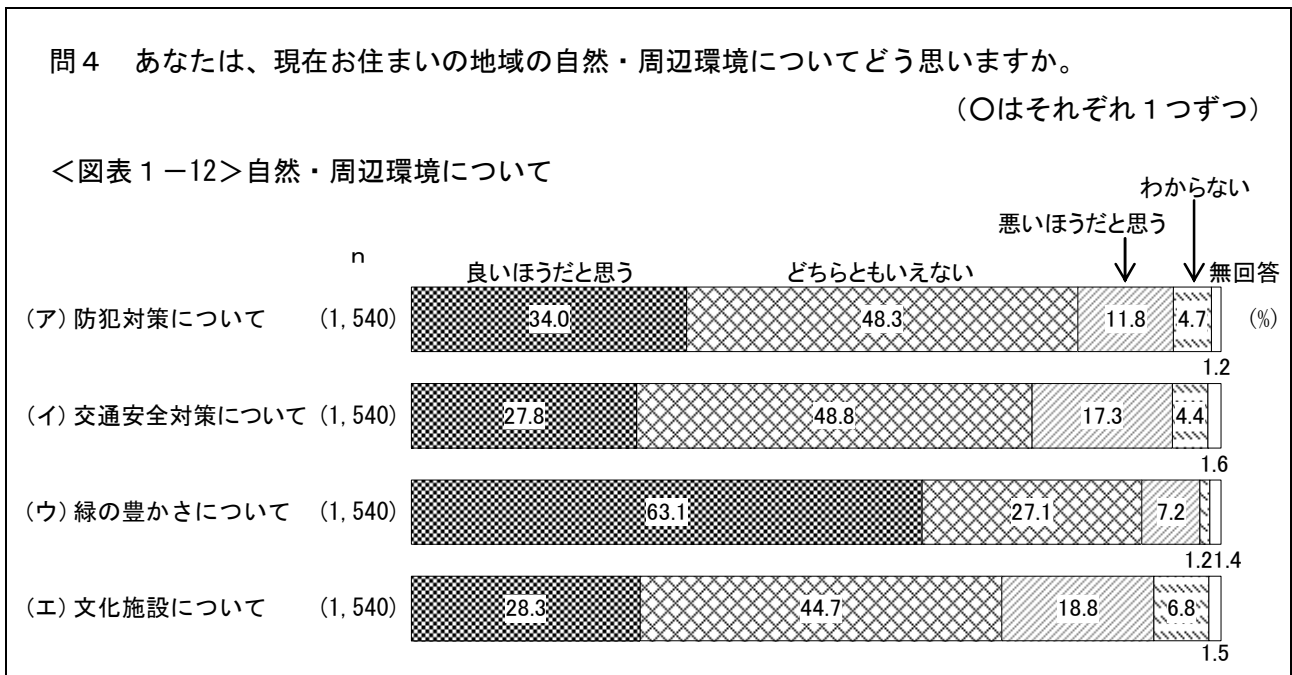
性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(77.9%)と女性の50代(77.4%)が約8割で高くなっている。(図表1-11)

<図表1-11>生活環境全般の満足度／地域別、性・年代別



(4) 自然・周辺環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉で6割を超える



自然・周辺環境に関する4つの項目についてそれぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉(63.1%)で6割を超えており、以下、〈防犯対策について〉(34.0%)、〈文化施設について〉(28.3%)、〈交通安全対策について〉(27.8%)が続く。

(図表1-12)

【地域別】

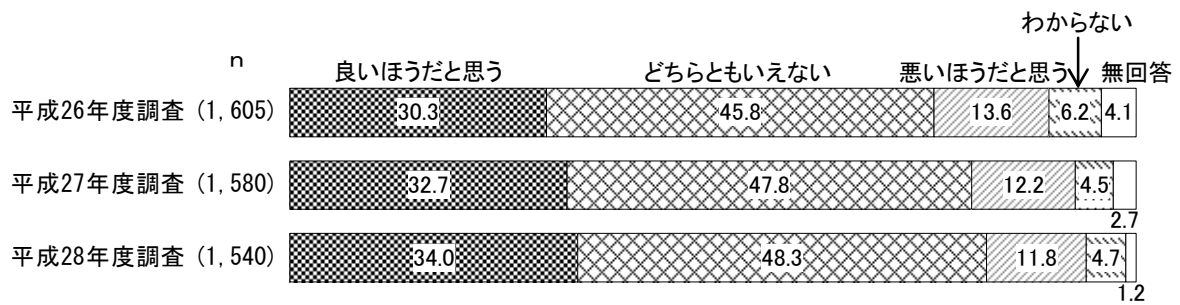
地域別にみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は“東葛飾地域”(40.6%)と“印旛地域”(40.9%)が4割、“夷隅地域”(42.9%)が4割を超えて高くなっている。〈交通安全対策について〉において、「良いほうだと思う」は“海匝地域”(34.1%)が3割台半ばで高くなっている。〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(91.7%)と“夷隅地域”(90.5%)が9割台で高くなっている。〈文化施設について〉において、「良いほうだと思う」は“葛南地域”(36.9%)が3割台半ばで高くなっている。(図表1-13)

【性・年代別】

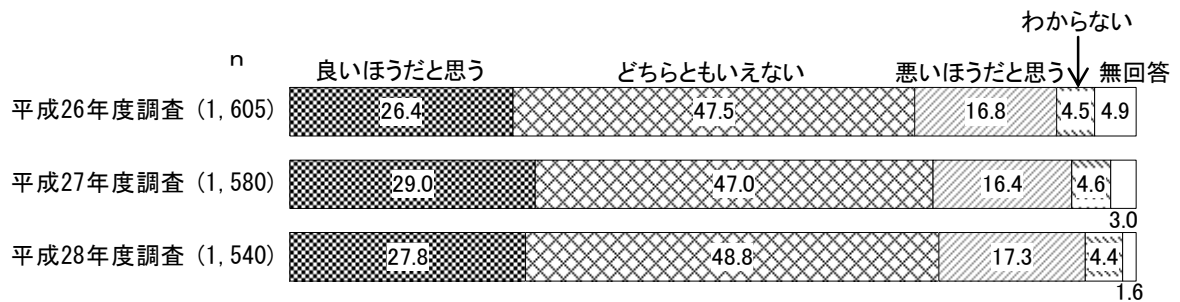
性・年代別でみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(45.7%)が4割台半ばで高くなっている。〈交通安全対策について〉において、「悪いほうだと思う」は男性の40代(30.8%)が3割で高くなっている。〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は女性の50代(73.0%)が7割を超えて、60~64歳(70.1%)が7割と高くなっている。〈文化施設について〉において、「良いほうだと思う」は男性の30代(34.2%)と女性の20代(36.4%)が3割台半ばで高くなっている。(図表1-13)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

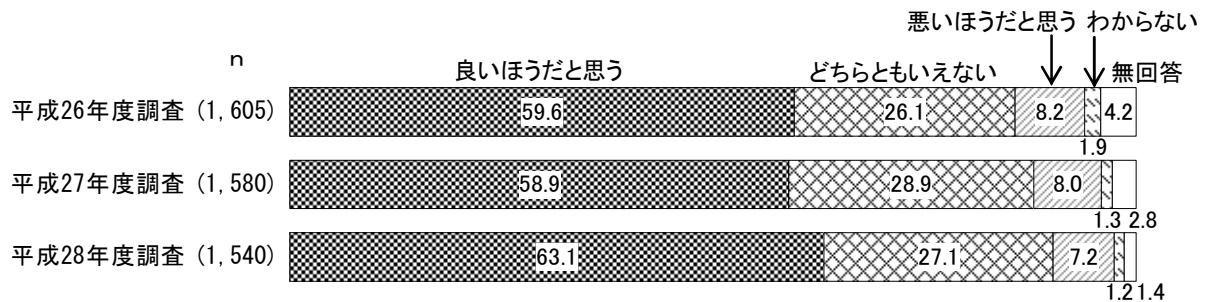
(ア) 防犯対策について



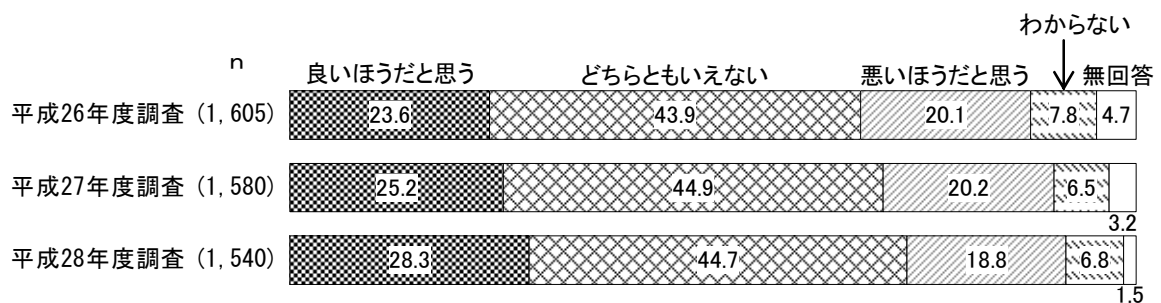
(イ) 交通安全対策について



(ウ) 緑の豊かさについて



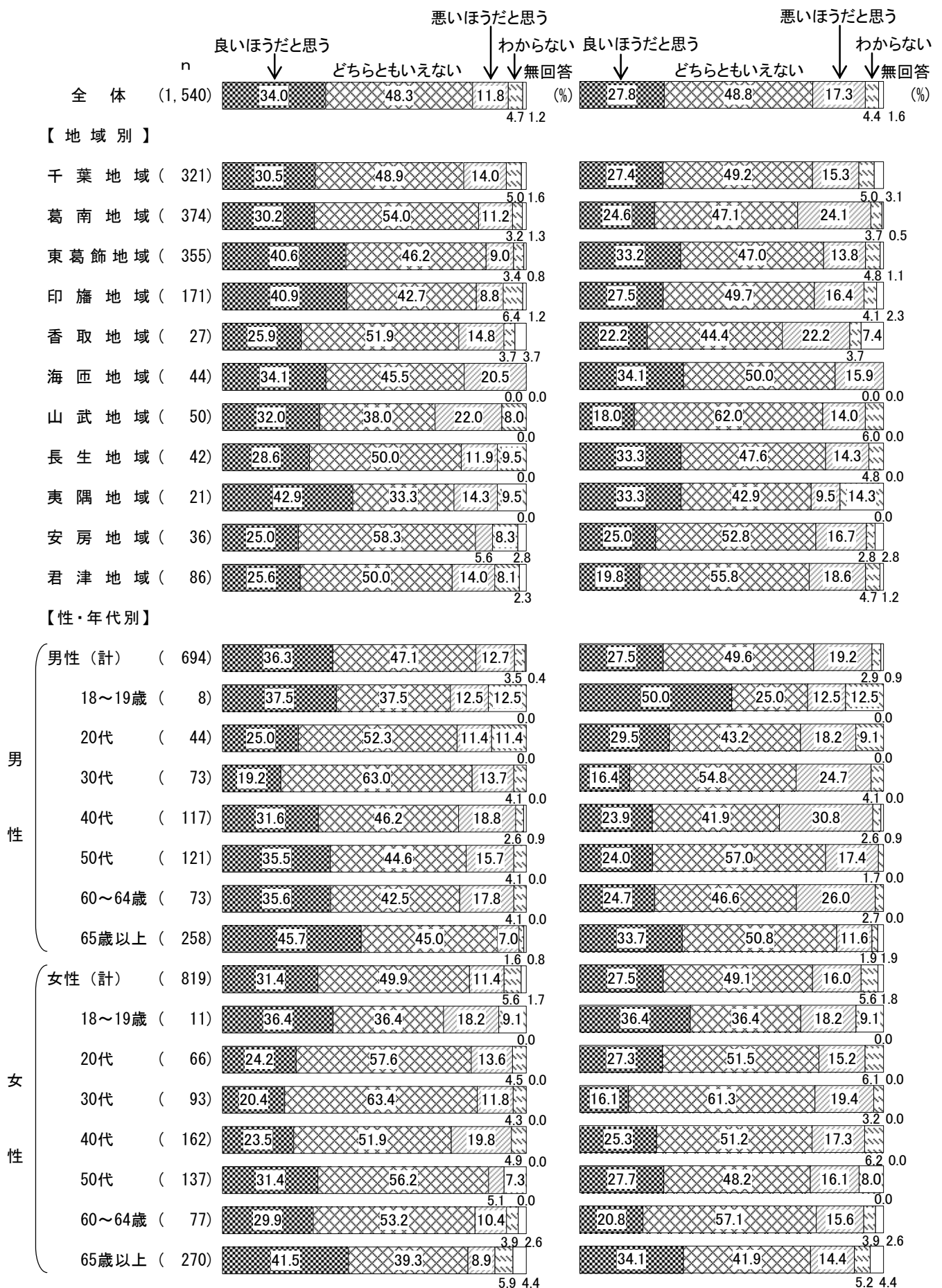
(エ) 文化施設について



<図表1-13>自然・周辺環境について／地域別、性・年代別

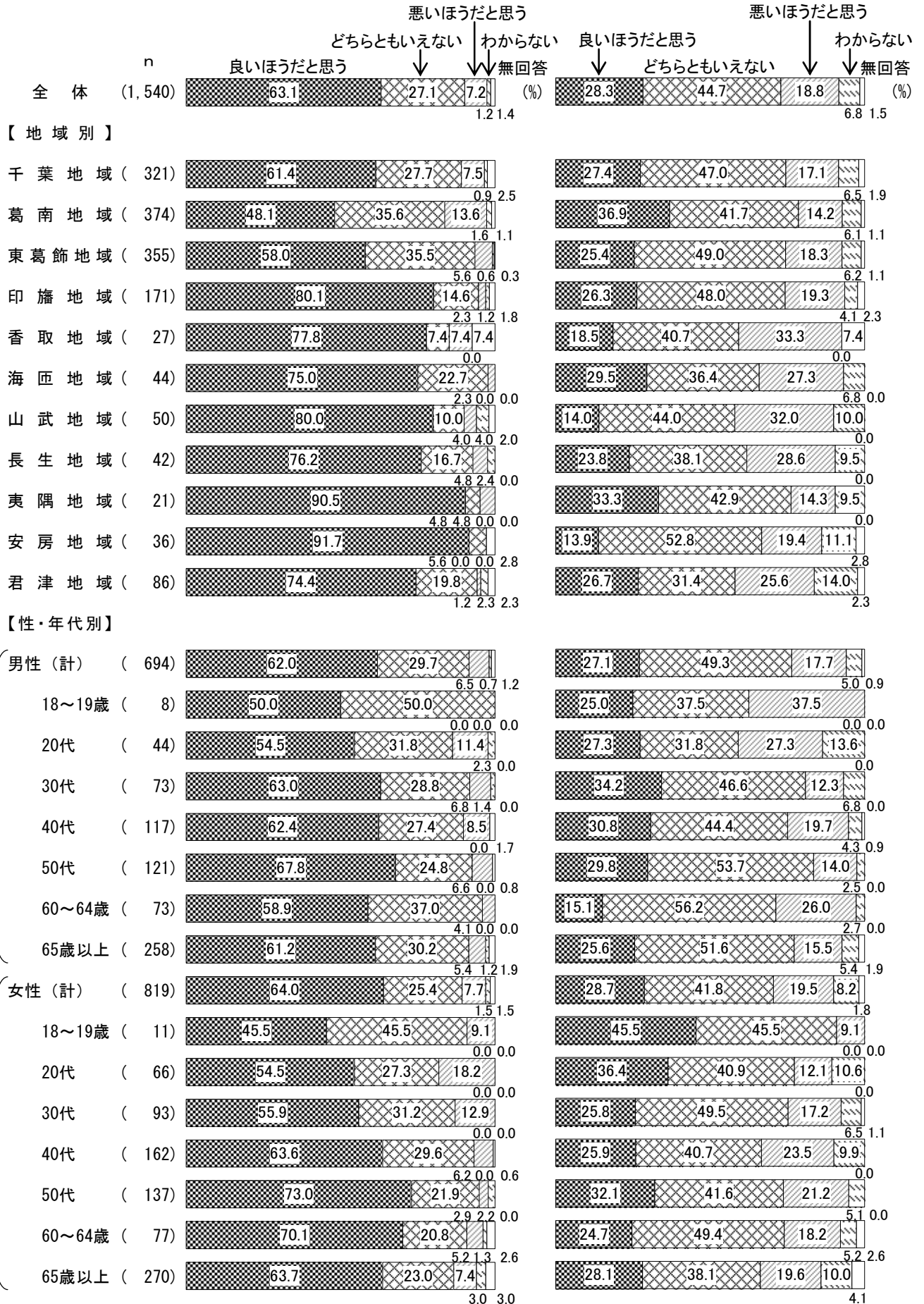
(ア) 防犯対策について

(イ) 交通安全対策について



(ウ) 緑の豊かさについて

(エ) 文化施設について

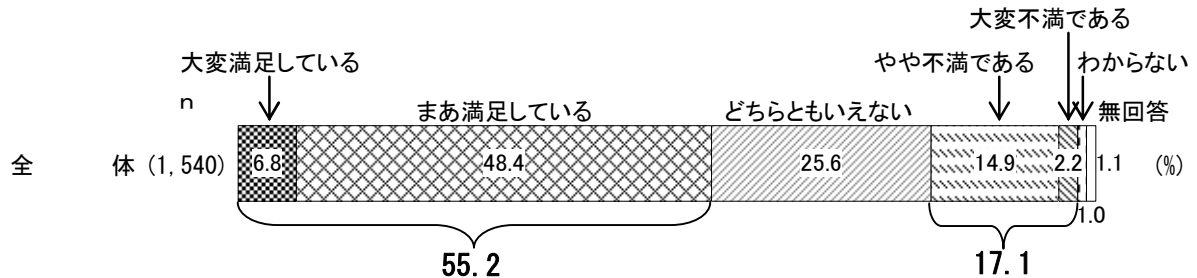


(5) 自然・周辺環境全般の満足度

◇『満足している』が5割台半ば

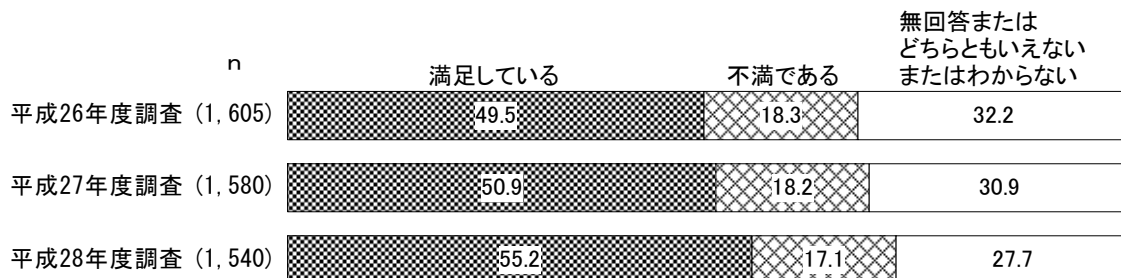
問5 あなたは、問4の(ア)～(エ)のような自然・周辺環境全般についてどう感じですか。(〇は1つ)

<図表1-14> 自然・周辺環境全般の満足度



自然・周辺環境に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(6.8%)と「まあ満足している」(48.4%)を合わせた『満足している』(55.2%)が5割台半ばとなっている。一方、「やや不満である」(14.9%)と「大変不満である」(2.2%)を合わせた『不満である』(17.1%)は約2割となっている。(図表1-14)

【参考】平成26年度・平成27年度調査の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



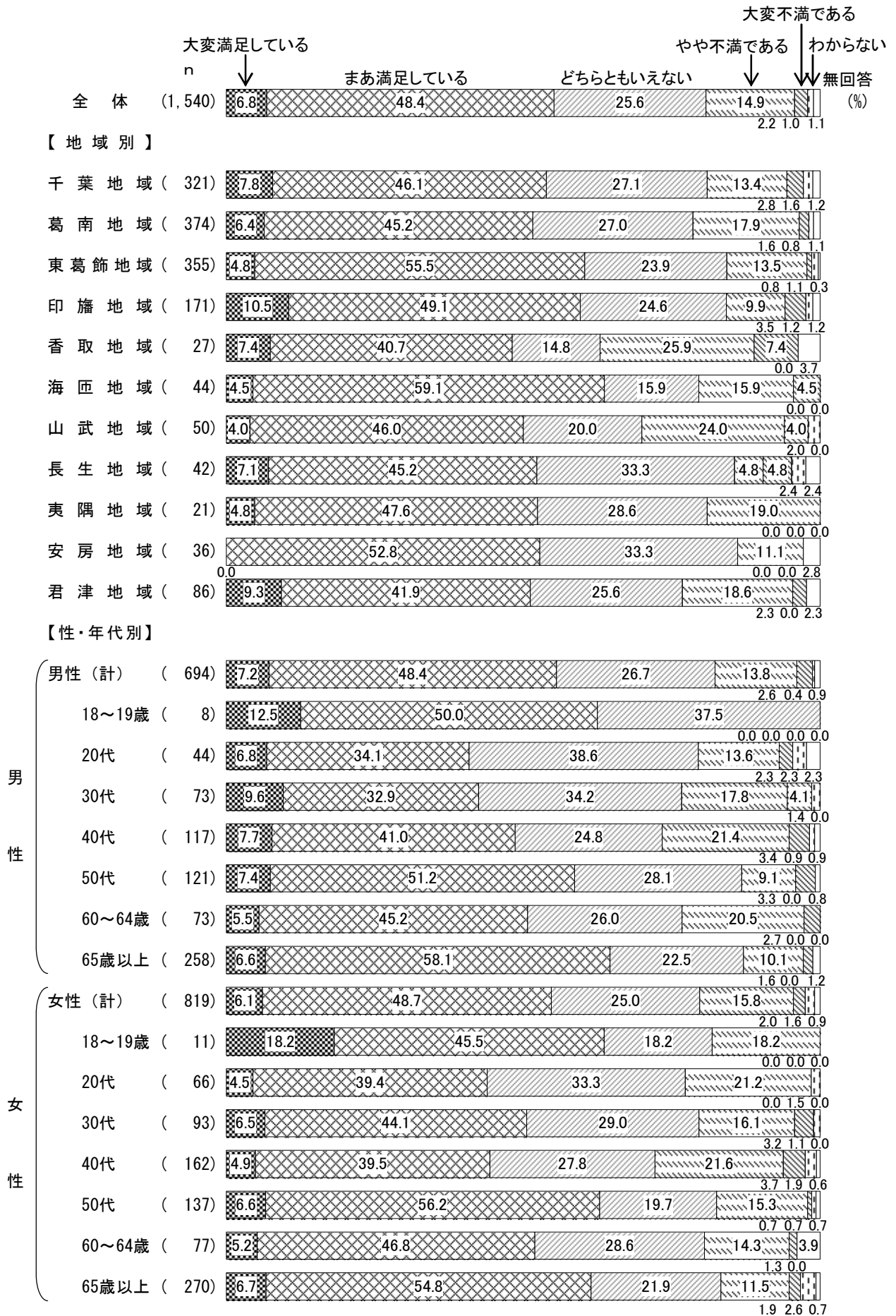
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“海匠地域”(63.6%)が6割台半ば、“東葛飾地域”(60.3%)が6割で高くなっている。一方、『不満である』は“香取地域”(33.3%)が3割を超えて高くなっている。(図表1-15)

【性・年代別】

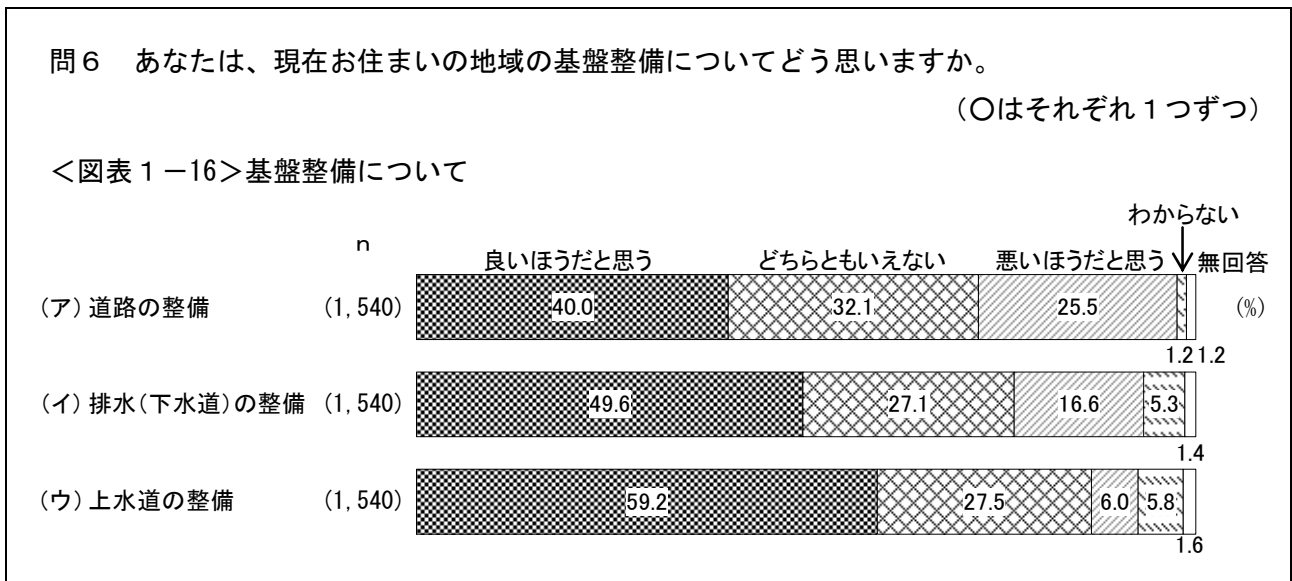
性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(64.7%)が6割台半ばで高くなっている。一方、『不満である』は男性の40代(24.8%)と女性の40代(25.3%)が2割台半ばで高くなっている。(図表1-15)

<図表1-15>自然・周辺環境全般の満足度／地域別、性・年代別



(6) 基盤整備について

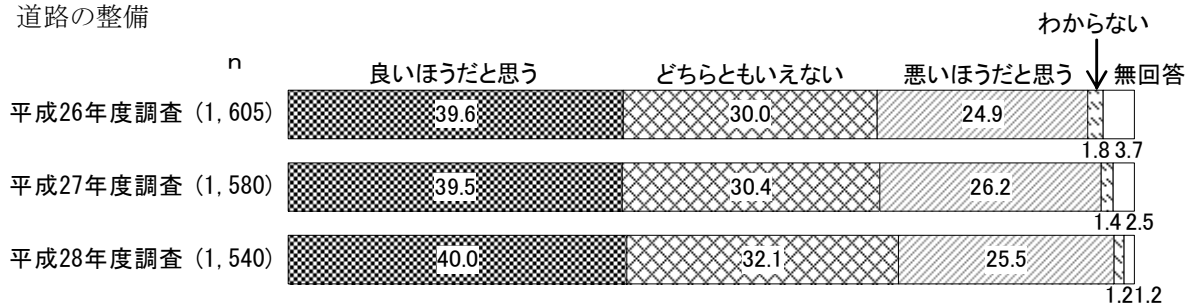
◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈上水道の整備〉で約6割



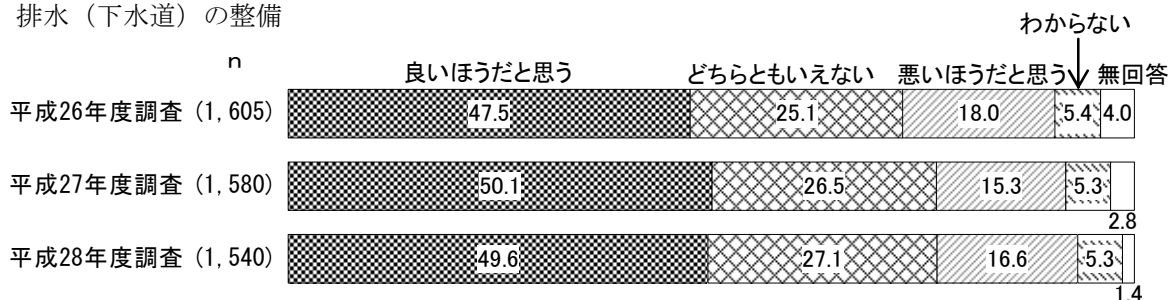
基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈上水道の整備〉(59.2%)で約6割となっている。以下、〈排水(下水道)の整備〉(49.6%)が約5割、〈道路の整備〉(40.0%)が4割となっている。(図表1-16)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

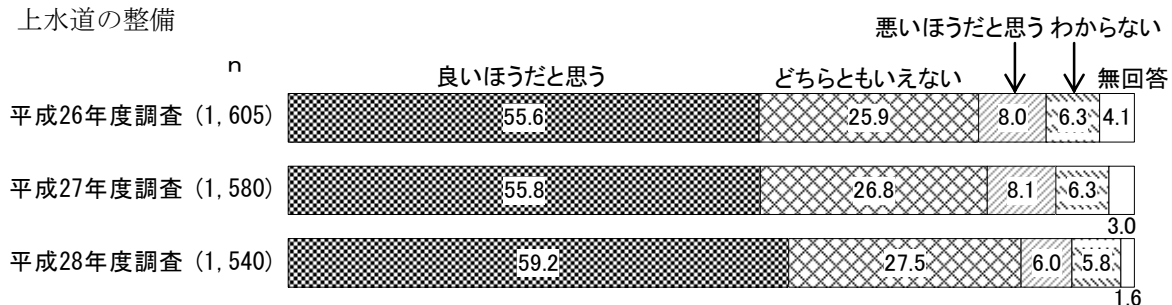
（ア）道路の整備



（イ）排水（下水道）の整備



（ウ）上水道の整備



【地域別】

地域別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（54.5％）が5割台半ばで高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は“海匝地域”（43.2％）が4割を超えて高くなっている。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（58.9％）と“東葛飾地域”（58.9％）が約6割で高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は“夷隅地域”（38.1％）と“山武地域”（38.0％）が約4割で高くなっている。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は“東葛飾地域”（68.7％）が約7割で高くなっている。（図表1-17）

【性・年代別】

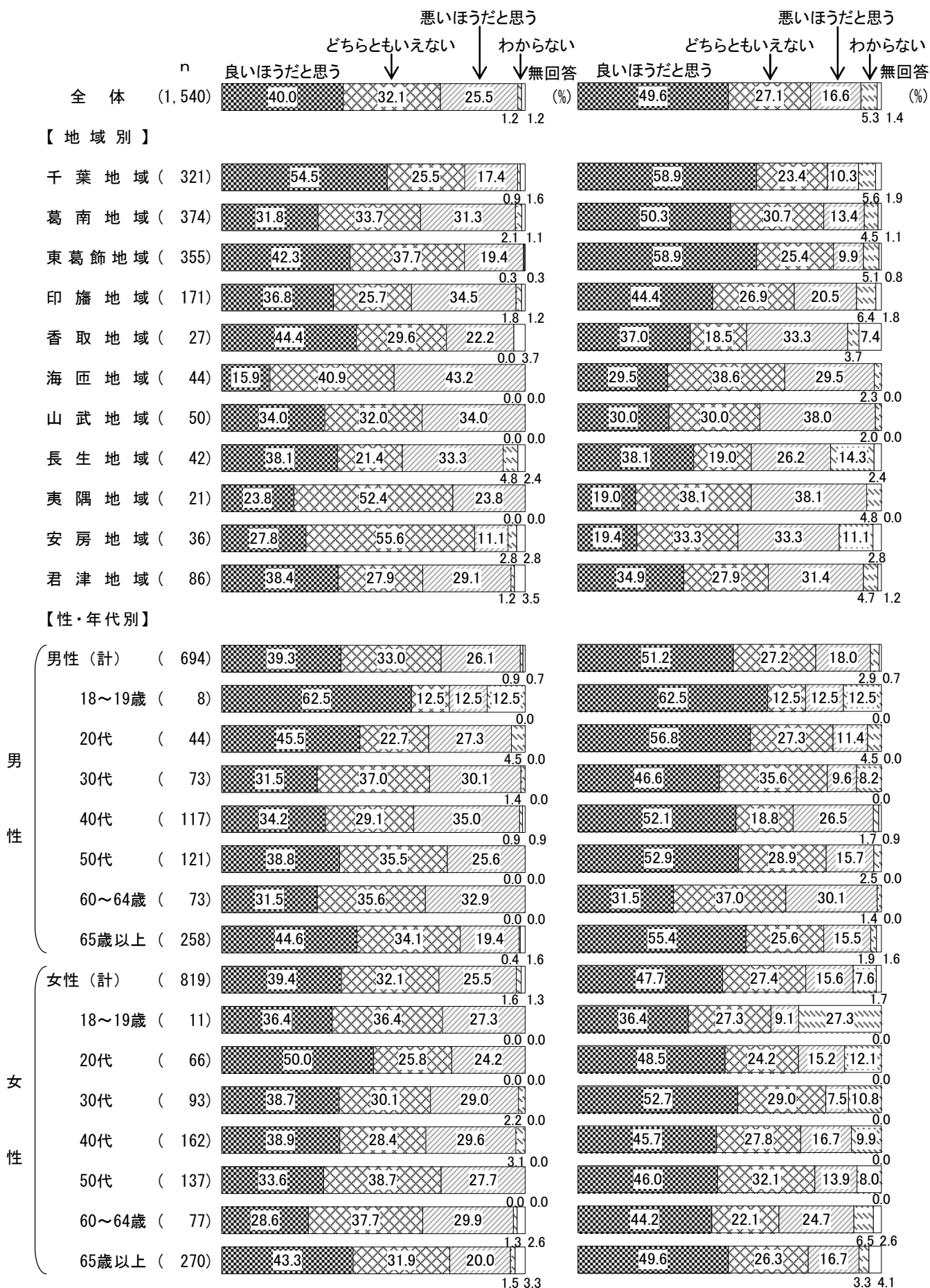
性・年代別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は女性の20代（50.0％）が5割で高くなっている。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の20代（56.8％）、65歳以上（55.4％）が5割台半ばで高くなっている。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の40代（68.4％）、65歳以上（69.0％）が約7割で高くなっている。

（図表1-17）

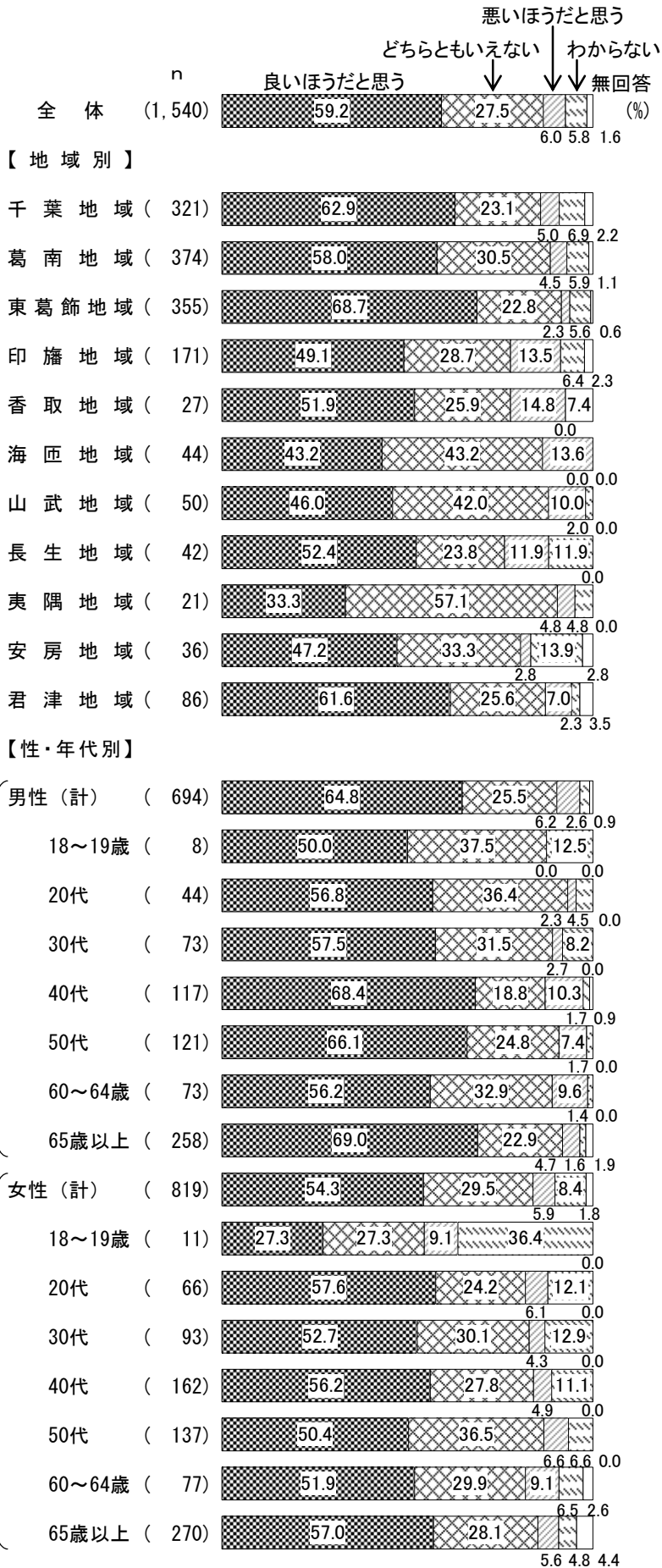
<図表1-17> 基盤整備について/地域別、性・年代別

(ア) 道路の整備

(イ) 排水(下水道)の整備



(ウ) 上水道の整備

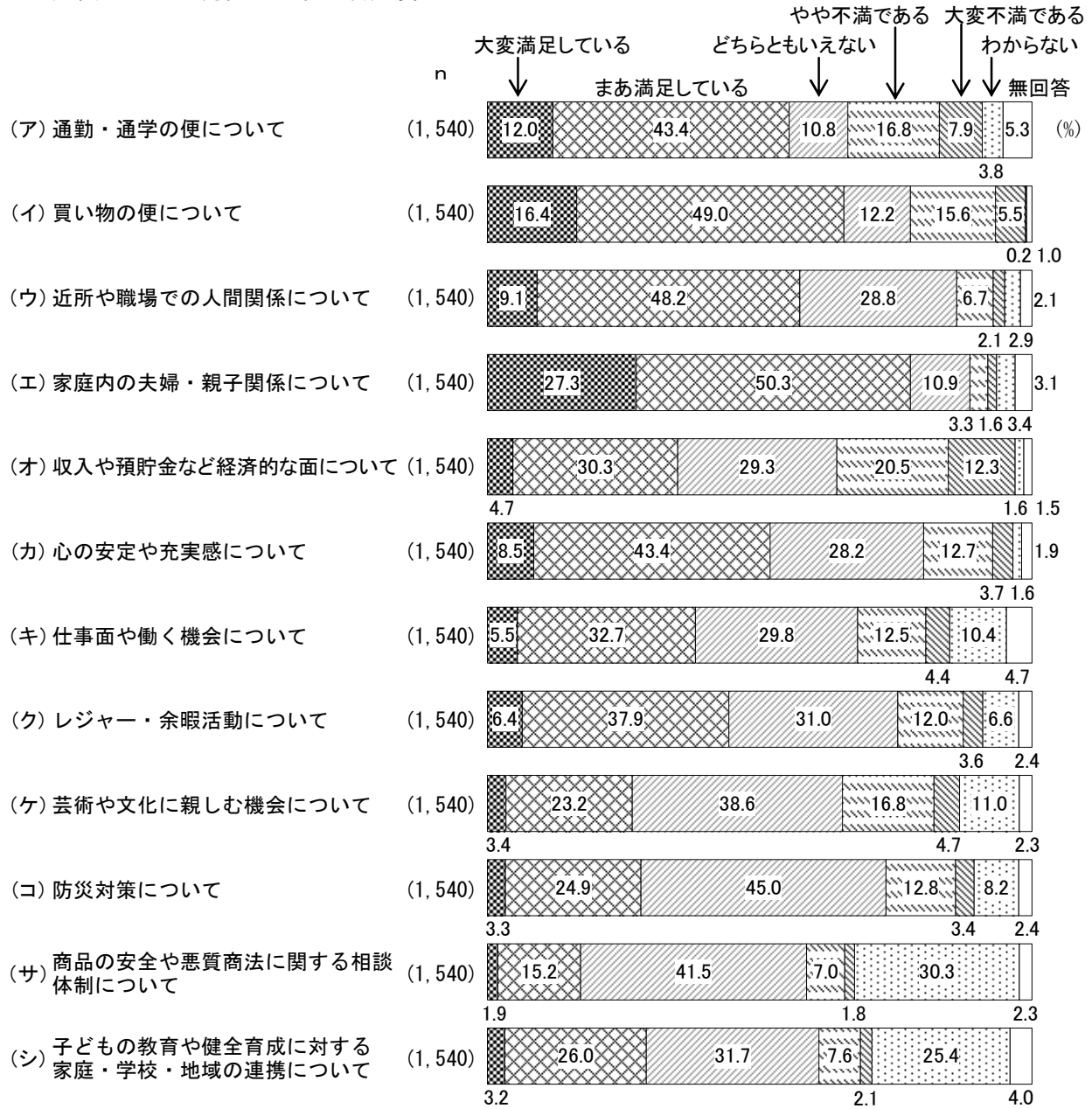


(7) 現在の生活の満足度

◇『満足している』が最も高いのは〈家庭内の夫婦・親子関係について〉で約8割

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

<図表1-18>現在の生活の満足度

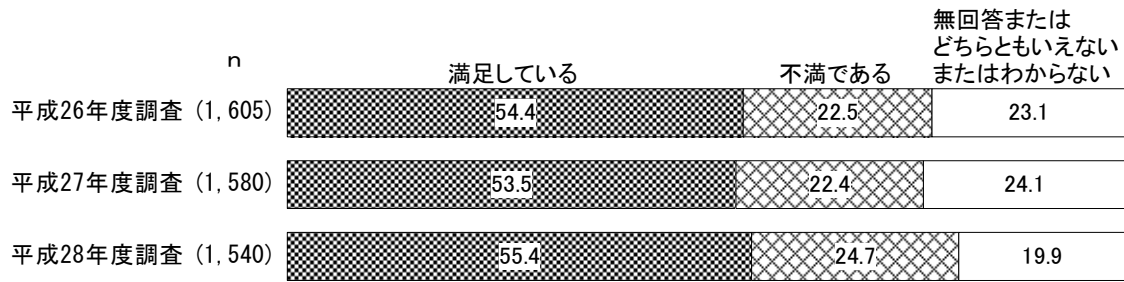


現在の生活に関する12個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、〈家庭内の夫婦・親子関係について〉(77.6%)で約8割となっている。以下、〈買い物の便について〉(65.4%)、〈近所や職場での人間関係について〉(57.3%)と続く。一方、「やや不満である」と「大変不満である」を合わせた『不満である』が最も高いのは、〈収入や預貯金など経済的な面について〉(32.8%)で3割を超えている。以下、〈通勤・通学の便について〉(24.7%)が2割台半ばとなっている。

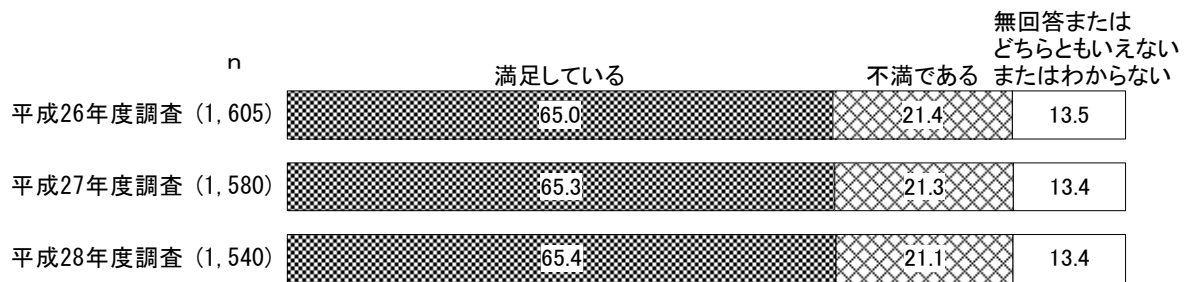
(図表1-18)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

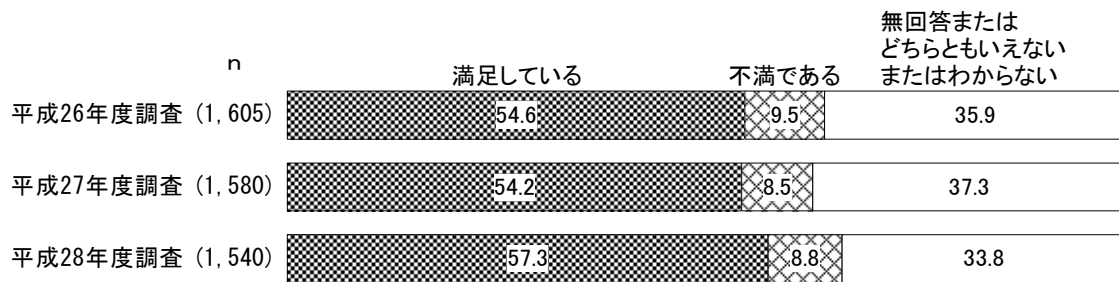
(ア) 通勤・通学の便について



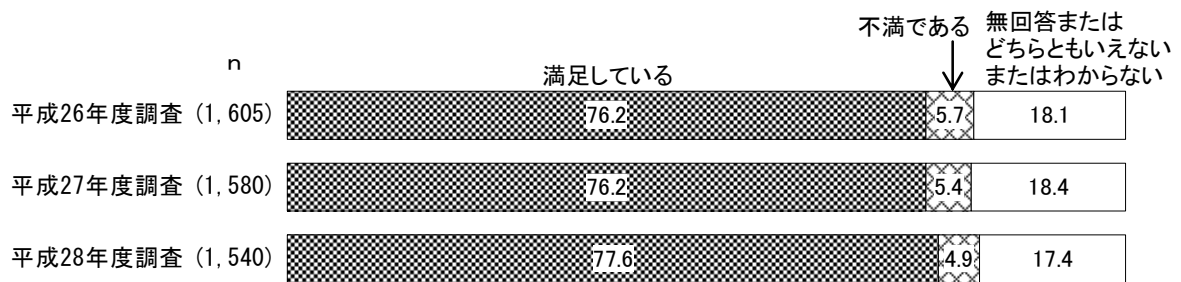
(イ) 買い物の便について



(ウ) 近所や職場での人間関係について



(エ) 家庭内の夫婦・親子関係について



〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

(オ) 収入や預貯金など経済的な面について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査 (1,605)	29.2	38.3	32.5
平成27年度調査 (1,580)	29.6	35.9	34.5
平成28年度調査 (1,540)	35.0	32.8	32.4

(カ) 心の安定や充実感について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査 (1,605)	49.6	17.8	32.6
平成27年度調査 (1,580)	50.0	16.2	33.8
平成28年度調査 (1,540)	51.9	16.4	31.7

(キ) 仕事面や働く機会について

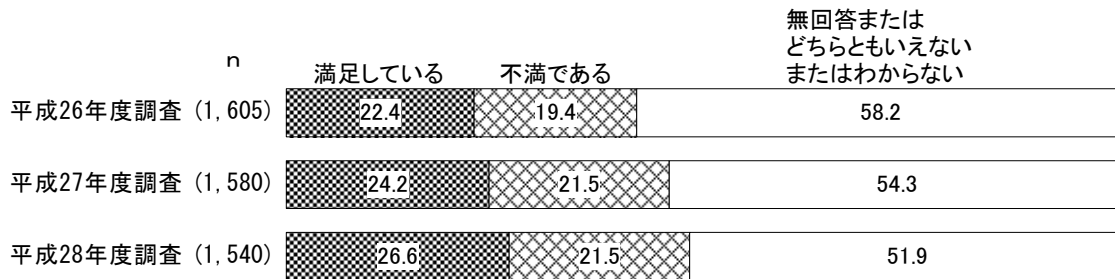
n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査 (1,605)	33.8	19.4	46.8
平成27年度調査 (1,580)	34.3	17.3	48.4
平成28年度調査 (1,540)	38.2	16.9	44.9

(ク) レジャー・余暇活動について

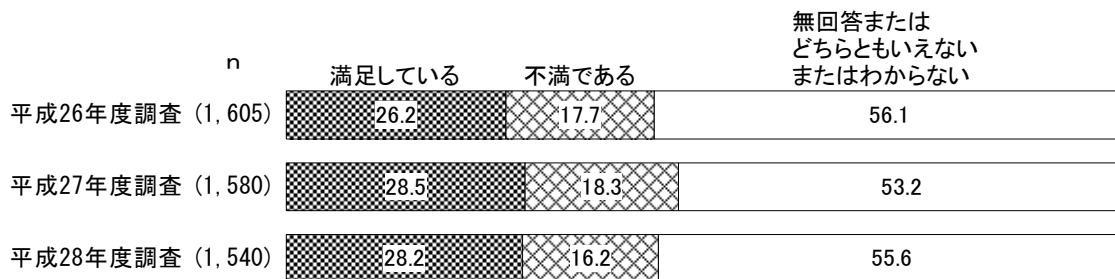
n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査 (1,605)	39.4	15.3	45.2
平成27年度調査 (1,580)	40.7	16.4	42.9
平成28年度調査 (1,540)	44.3	15.6	40.0

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

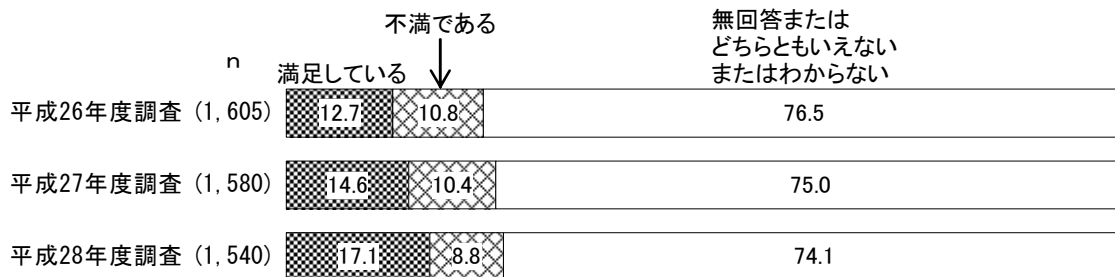
(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について



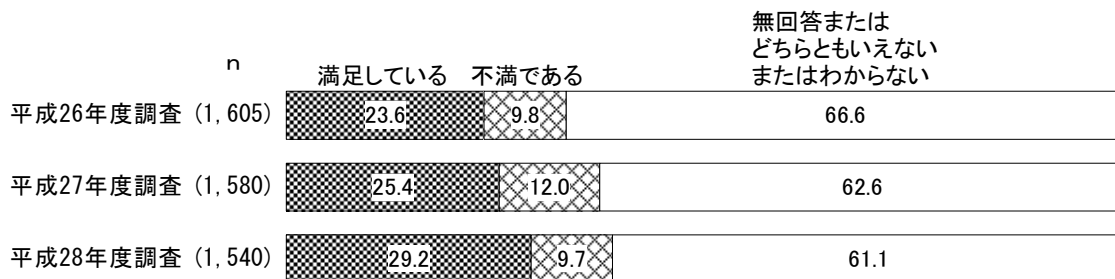
(コ) 防災対策について



(サ) 商品の安全や悪質商法に関する相談体制について



(シ) 子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について



【地域別】

地域別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（69.5%）が約7割で高くなっている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（77.0%）が約8割で高くなっている。

〈近所や職場での人間関係について〉において、『満足している』は“君津地域”（65.2%）が6割台半ばで高くなっている。

〈家庭内の夫婦・親子関係について〉において、『満足している』は“香取地域”（85.2%）と“君津地域”（84.9%）が8割台半ばで高くなっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は“葛南地域”（38.3%）、“山武地域”（38.0%）、“東葛飾地域”（37.8%）が約4割で高くなっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は“君津地域”（55.8%）、“長生地域”（54.8%）、“千葉地域”（54.2%）、“葛南地域”（53.8%）、“東葛飾地域”（53.8%）が5割台半ばとなっている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は“千葉地域”（45.2%）と“香取地域”（44.4%）が4割台半ばで高くなっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『満足している』は“葛南地域”（52.7%）が5割を超えて高くなっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『満足している』は“葛南地域”（33.4%）が3割を超えて高くなっている。

〈防災対策について〉において、『満足している』は“夷隅地域”（42.9%）が4割を超えて高くなっている。一方、『不満である』は“香取地域”（33.3%）が3割を超えて高くなっている。

〈商品の安全や悪質商法に関する相談体制について〉において、『満足している』は“香取地域”（22.2%）が2割を超えて高くなっている。

〈子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について〉において、『満足している』は“君津地域”（36.1%）が3割台半ばで高くなっている。（図表1-19）

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は男性の40代（67.5%）と女性の50代（67.8%）が約7割で高くなっている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は男性の65歳以上（70.2%）と女性の30代（71.0%）、50代（70.8%）が7割台で高くなっている。

〈近所や職場での人間関係について〉において、『満足している』は男性の18～19歳（37.5%）、60～64歳（43.8%）以外のすべての性・年代で5割以上となっている。

〈家庭内の夫婦・親子関係について〉において、『満足している』は男性の60～64歳（68.5%）以外のすべての性・年代で7割以上となっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は男性の50代（38.9%）、65歳以上（38.4%）が約4割で高くなっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は女性の20代（62.1%）が6割を超えて高くなっている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は男性の30代（52.1%）が5割を超えて高くなっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『満足している』は女性の20代（57.5%）が約6割で高くなっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『満足している』は女性の20代（37.9%）が約4割で高くなっている。

〈防災対策について〉では、『満足している』は男性の50代（31.4%）、65歳以上（32.9%）と女性の20代（33.4%）が3割を超えて高くなっている。

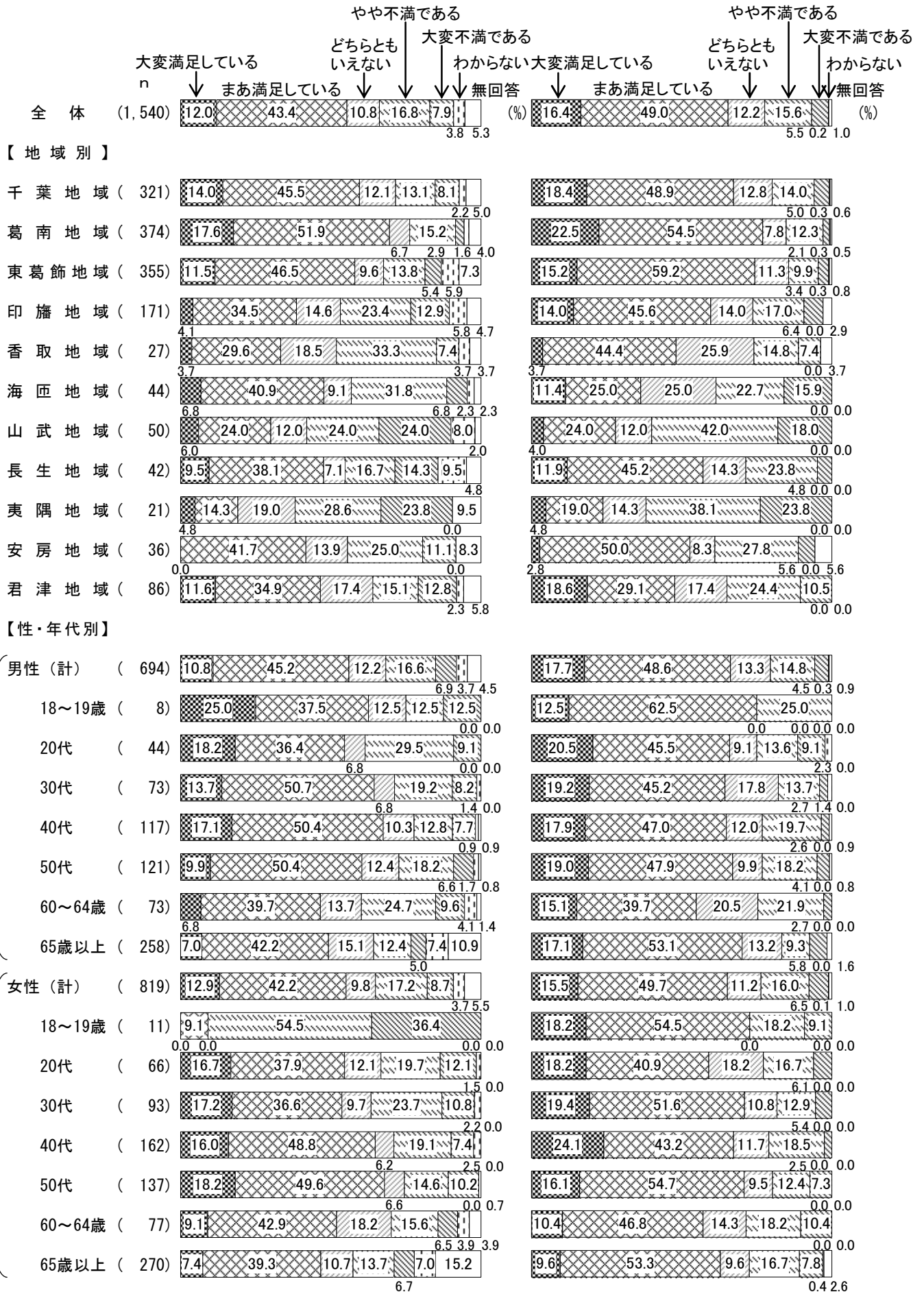
〈商品の安全や悪質商法に関する相談体制について〉において、『満足している』は女性の20代（28.7%）が約3割で高くなっている。

〈子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について〉において、『満足している』は女性の40代（40.1%）が4割で高くなっている。（図表1-19）

<図表1-19>現在の生活の満足度／地域別、性・年代別

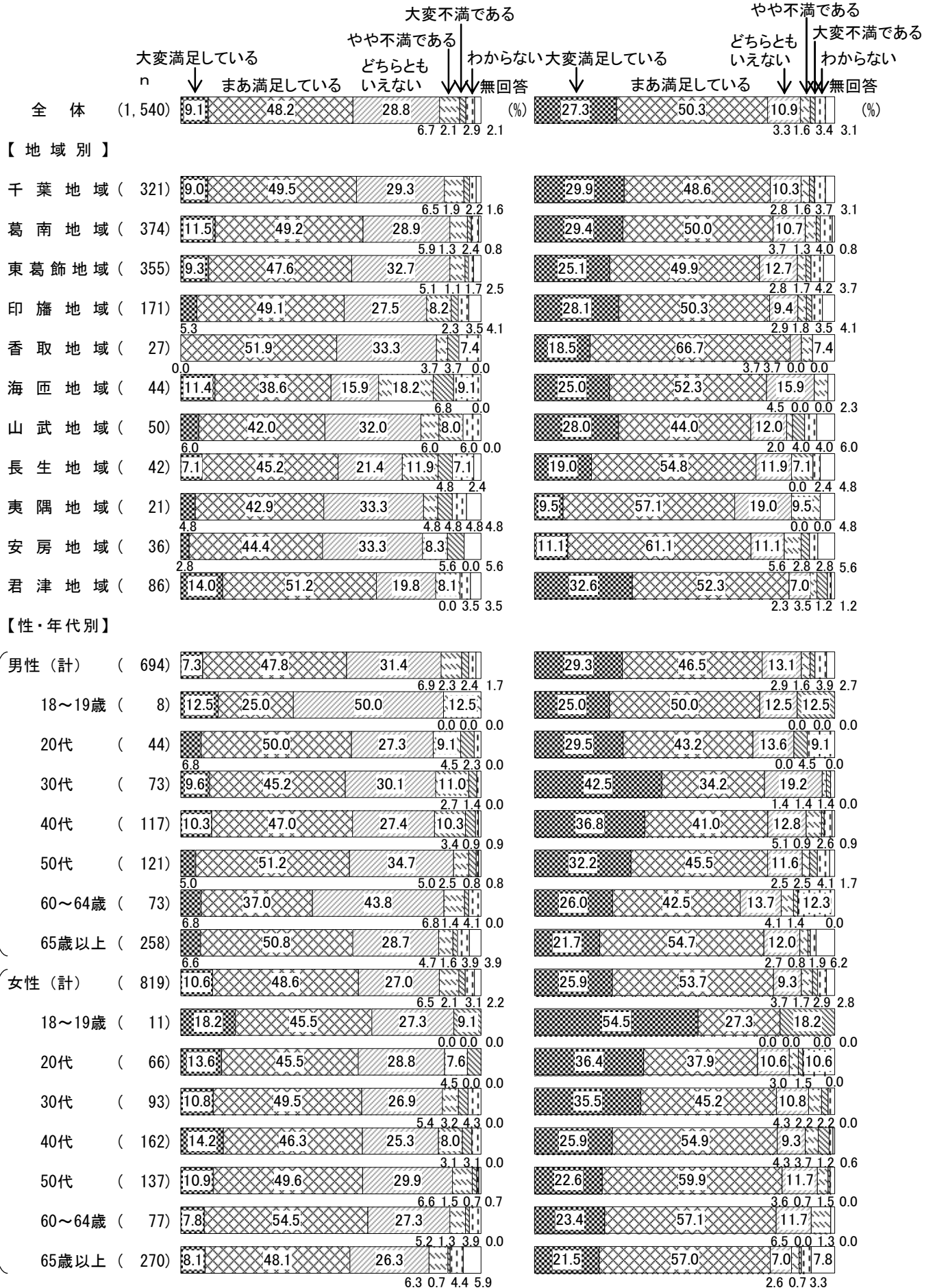
(ア) 通勤・通学の便について

(イ) 買い物の便について



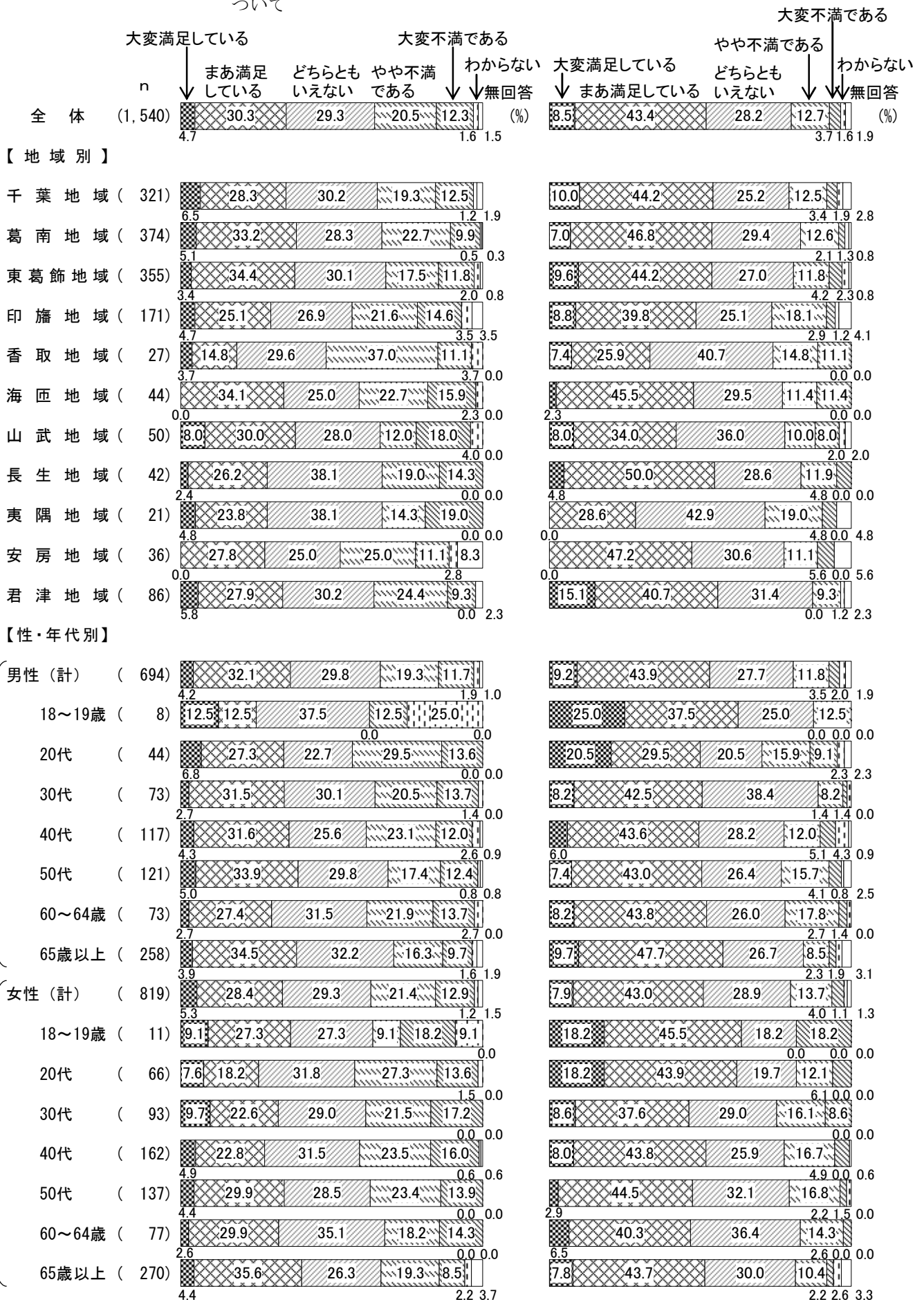
(ウ) 近所や職場での人間関係について

(エ) 家庭内の夫婦・親子関係について



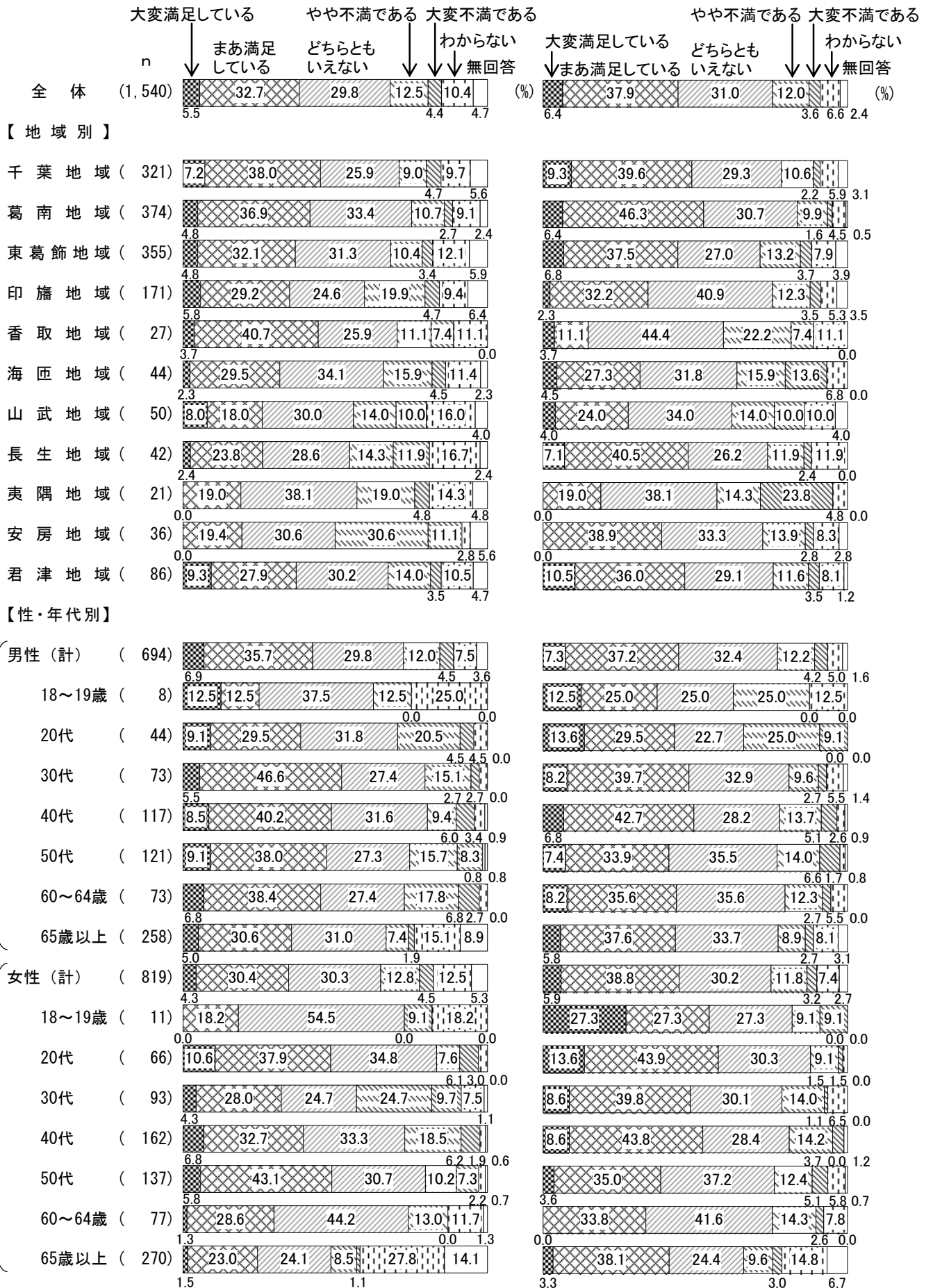
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について

(カ) 心の安定や充実感について

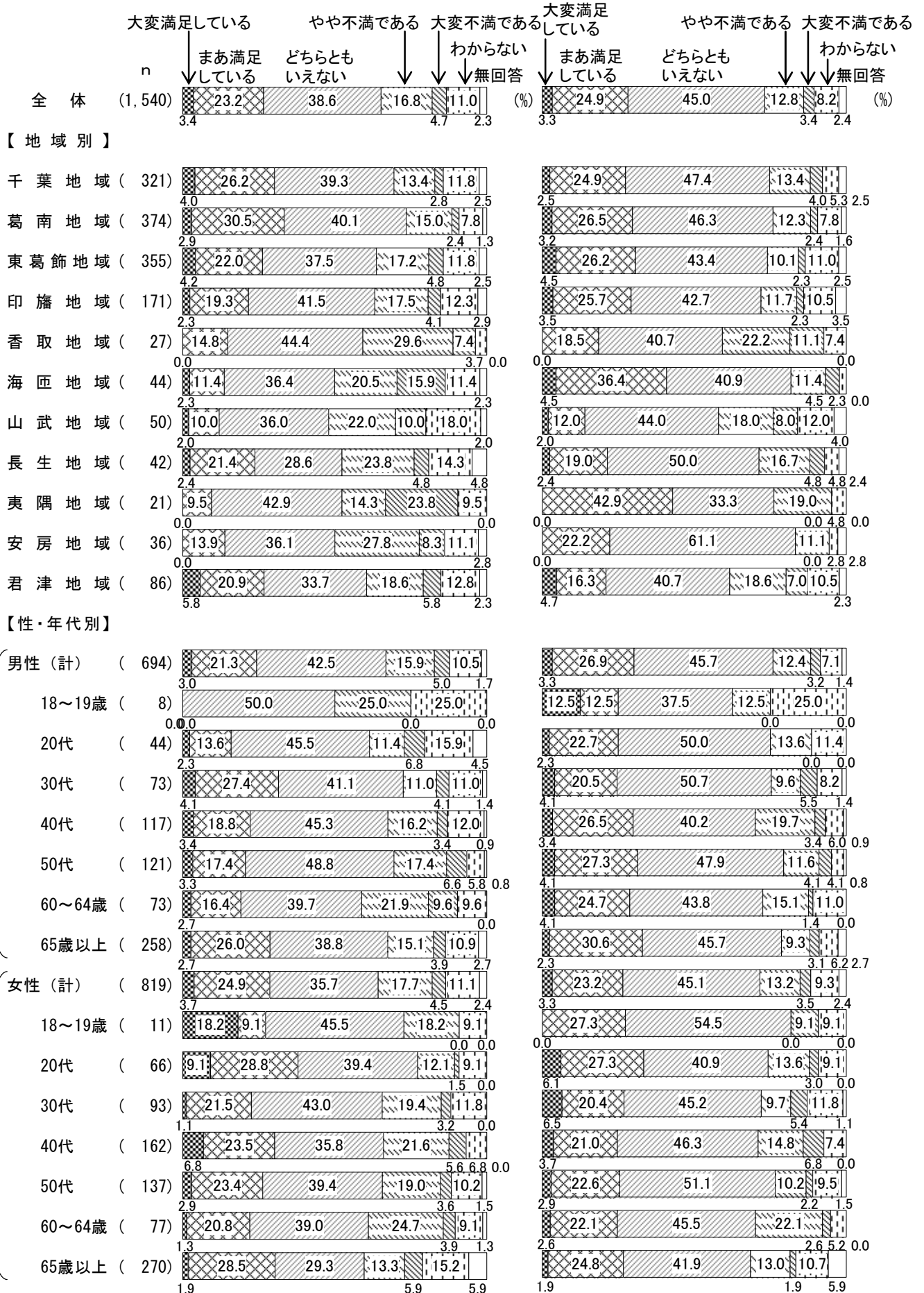


(キ) 仕事面や働く機会について

(ク) レジャー・余暇活動について

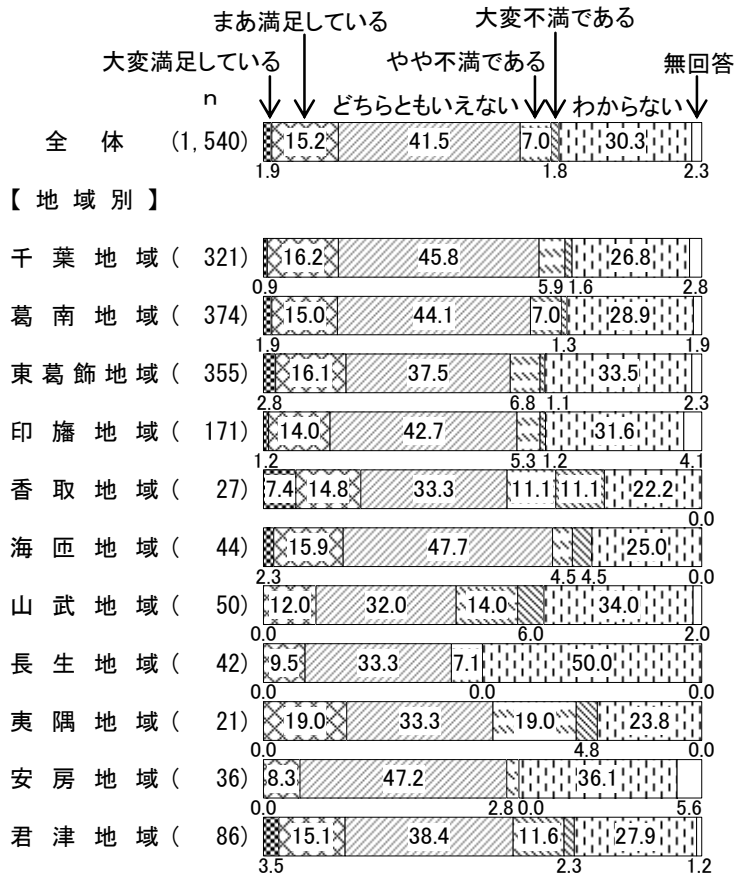


(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について (コ) 防災対策について

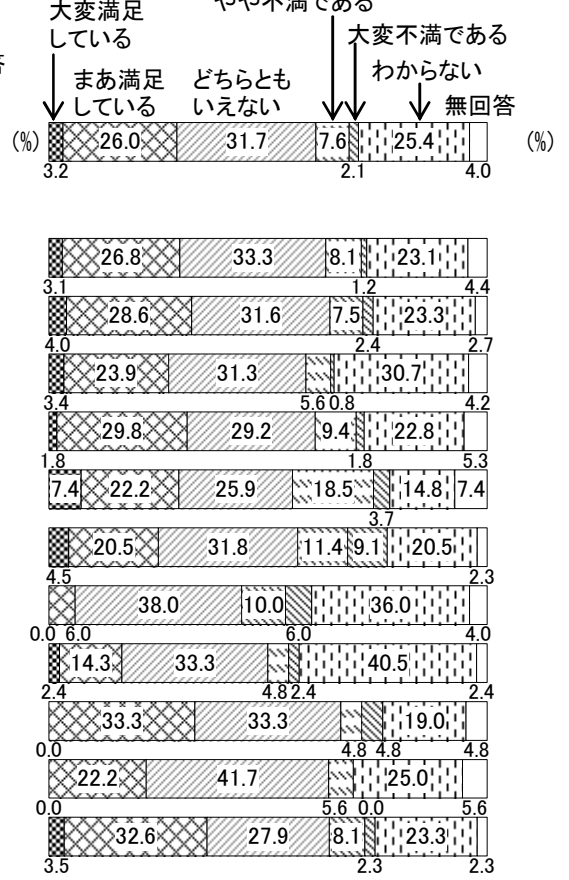


(サ) 商品の安全や悪質商法に関する
相談体制について

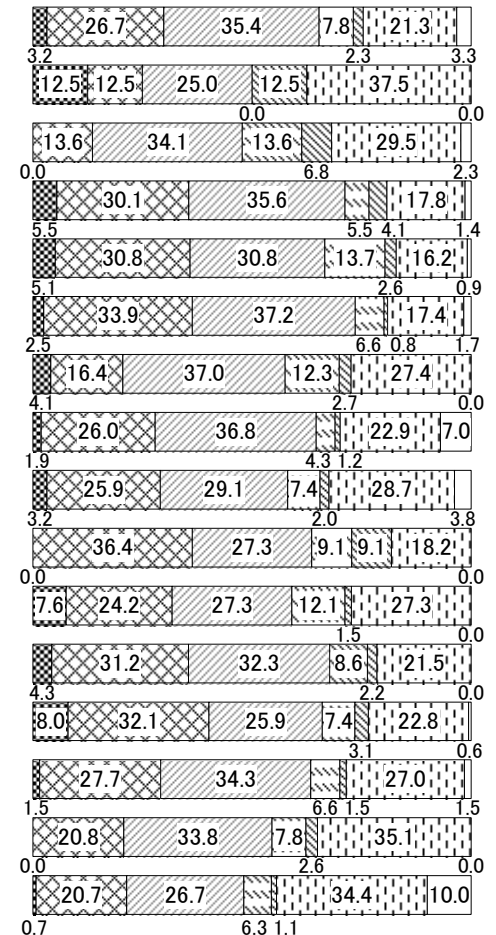
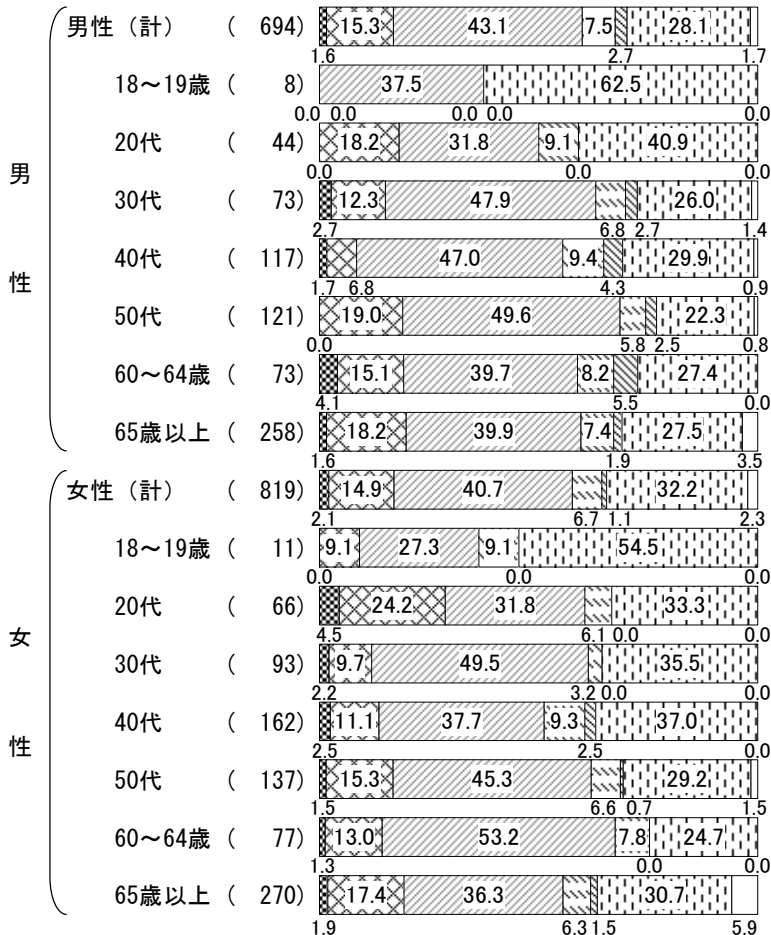
(シ) 子どもの教育や健全育成に対する
家庭・学校・地域の連携について



【地域別】



【性・年代別】

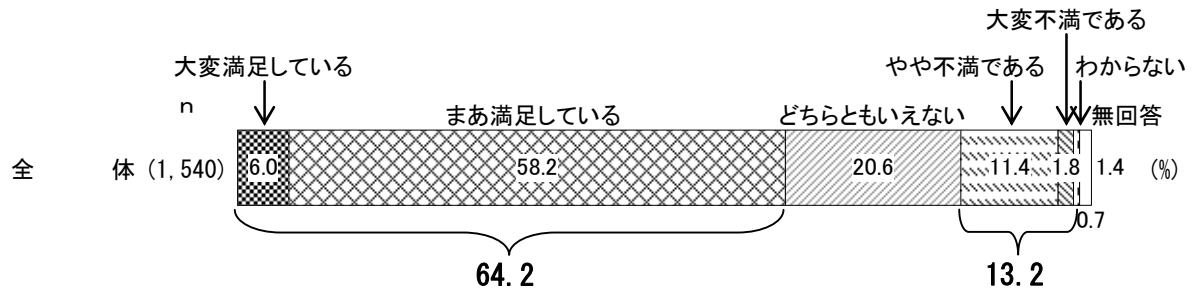


(8) 住生活全般の満足度

◇『満足している』が6割台半ば

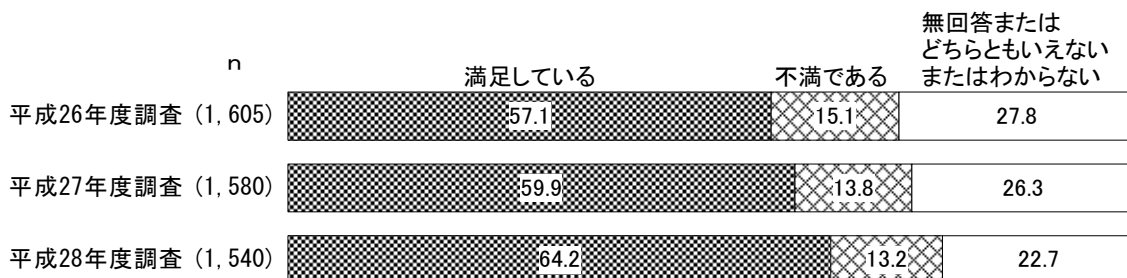
問8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。
(○は1つ)

<図表1-20>住生活全般の満足度



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」(6.0%)と「まあ満足している」(58.2%)を合わせた『満足している』(64.2%)が6割台半ばで高くなっている。一方、「やや不満である」(11.4%)と「大変不満である」(1.8%)を合わせた『不満である』(13.2%)は1割を超えている。(図表1-20)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果（単位：%）



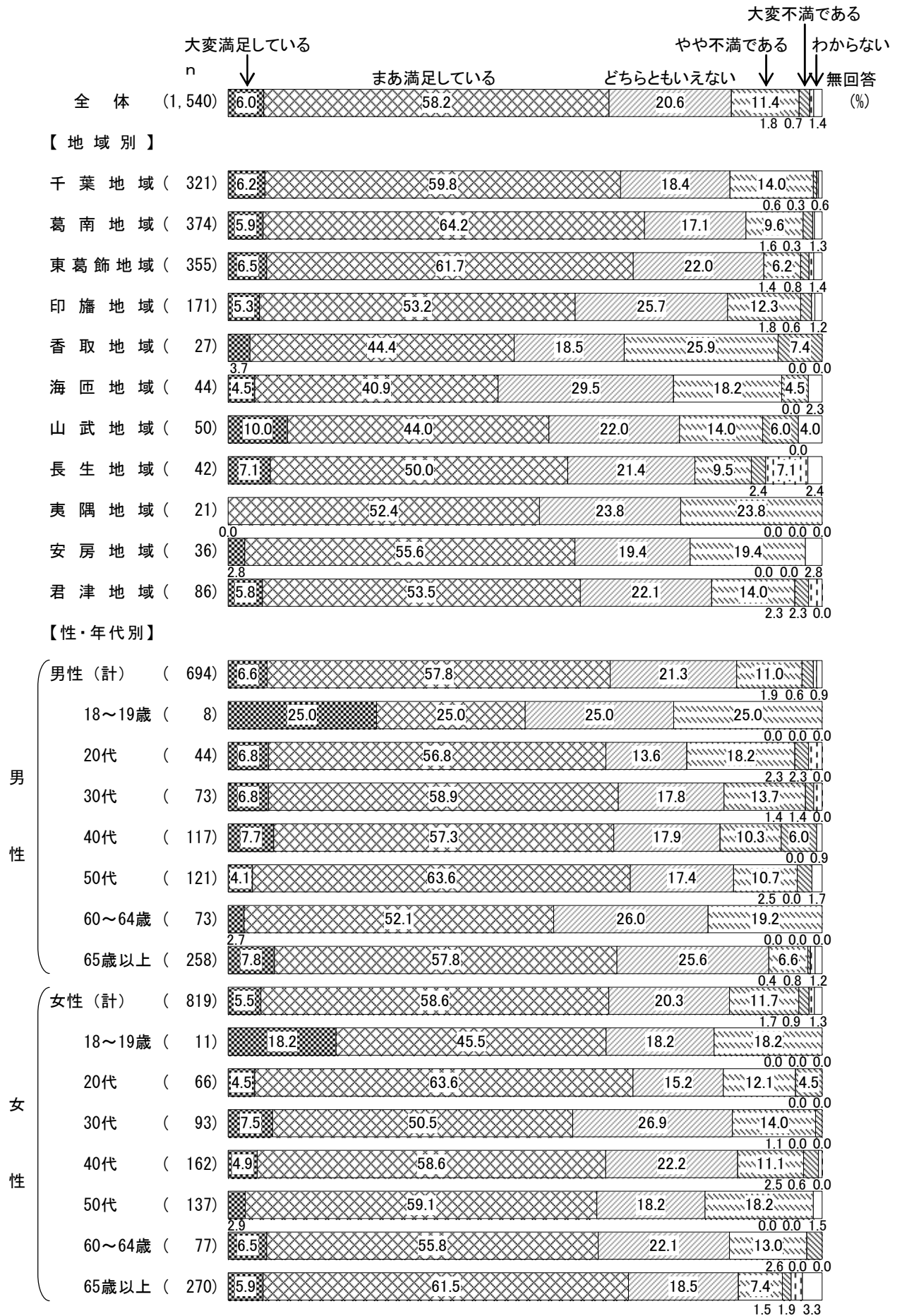
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“葛南地域” (70.1%) が7割で高くなっている。一方、『不満である』は“香取地域” (33.3%) が3割を超えて高くなっている。(図表1-21)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の50代 (67.7%) と女性の20代 (68.1%)、65歳以上 (67.4%) が約7割で高くなっている。(図表1-21)

<図表1-21>住生活全般の満足度／地域別、性・年代別



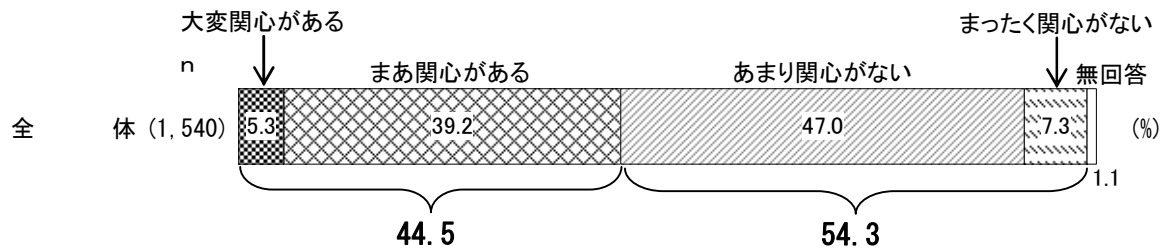
(9) 市民活動団体やボランティア活動の関心度

◇『関心がある』が4割台半ば

問9 あなたは、市民活動団体の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。(○は1つ)

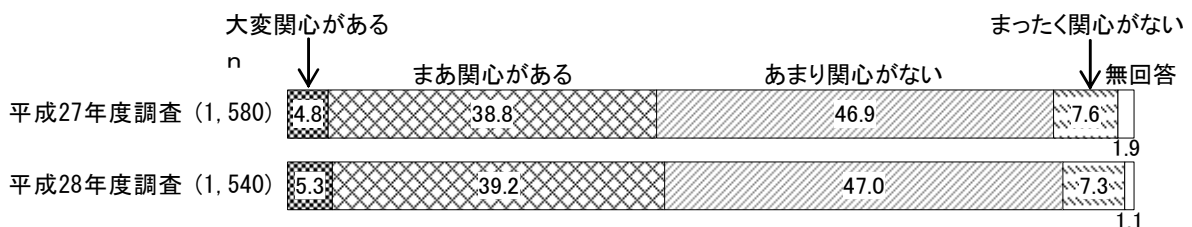
※ ここでいう「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）のことで

<図表1-22>市民活動団体やボランティア活動の関心度



市民活動団体の活動や、ボランティア活動の関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(5.3%)と「まあ関心がある」(39.2%)を合わせた『関心がある』(44.5%)が4割台半ばとなっている。一方、「あまり関心がない」(47.0%)と「まったく関心がない」(7.3%)を合わせた『関心がない』(54.3%)は5割台半ばとなっている。(図表1-22)

〔参考〕平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



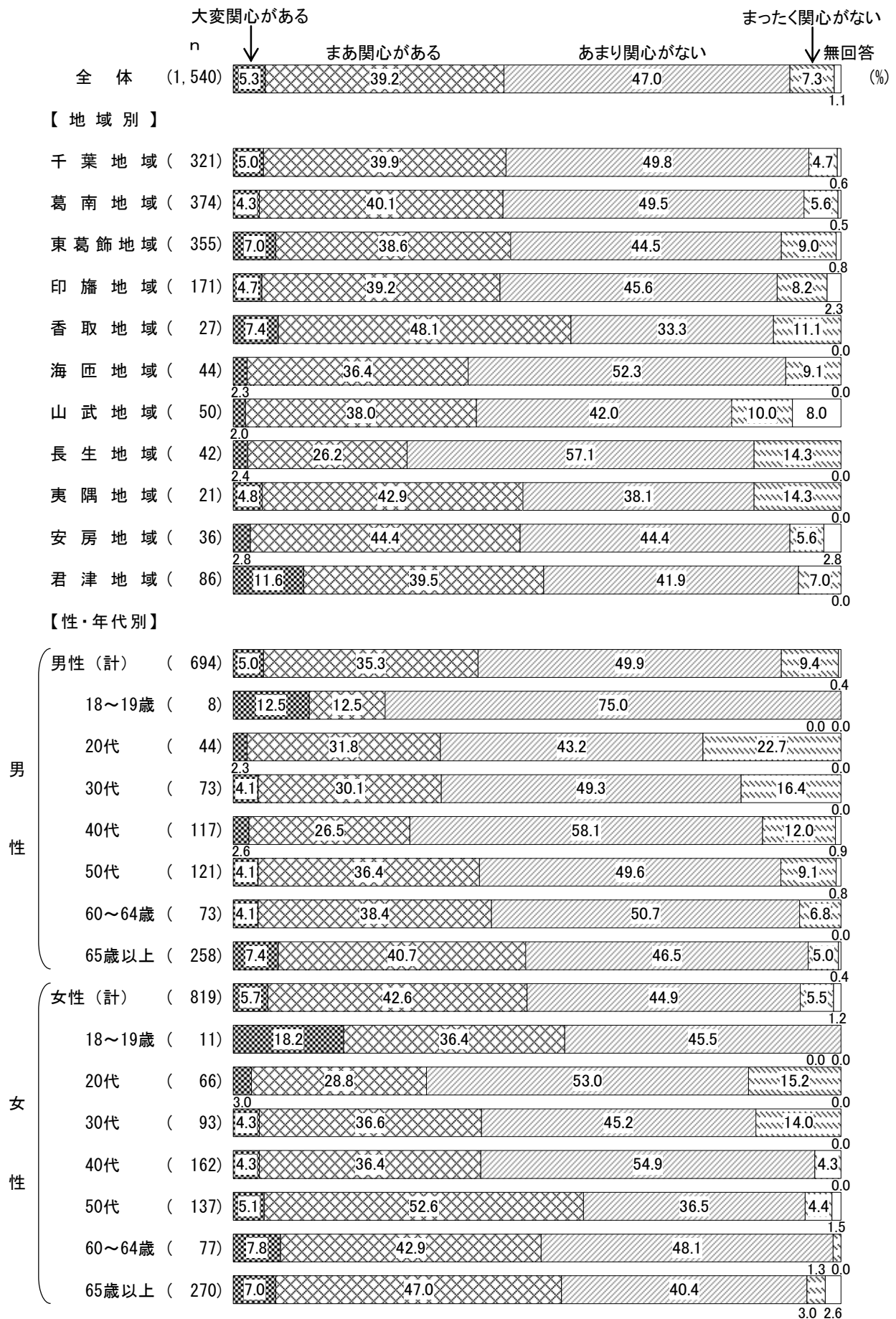
【地域別】

地域別にみると、『関心がある』は“香取地域”(55.5%)が5割台半ばで高くなっている。一方、『関心がない』は“長生地域”(71.4%)が7割を超えて高くなっている。(図表1-23)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある』は女性の50代(57.7%)が約6割で高くなっている。一方、『関心がない』は男性の40代(70.1%)が7割で高くなっている。(図表1-23)

<図表1-23>市民活動団体やボランティア活動の関心度／地域別、性・年代別



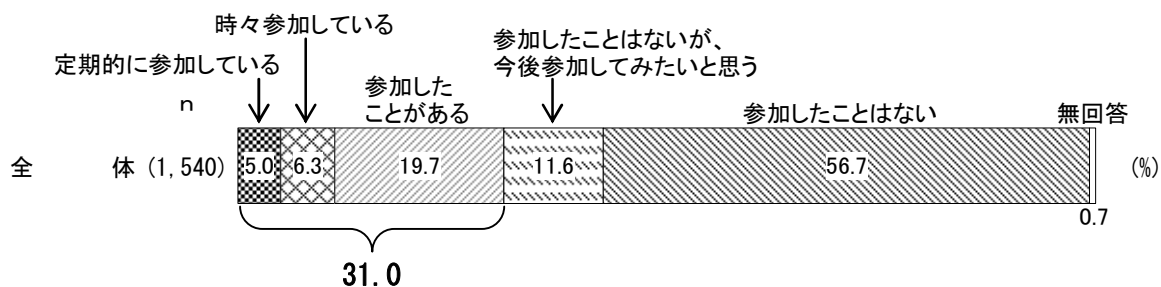
(10) 市民活動団体の活動への参加経験

◇『参加したことがある』が3割を超える

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

※ ここでいう「参加」とは、団体の会員やスタッフとしての参加、団体への資金・物品・場所の提供・寄付、ボランティアによる労力・技術等の提供、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを含みます。

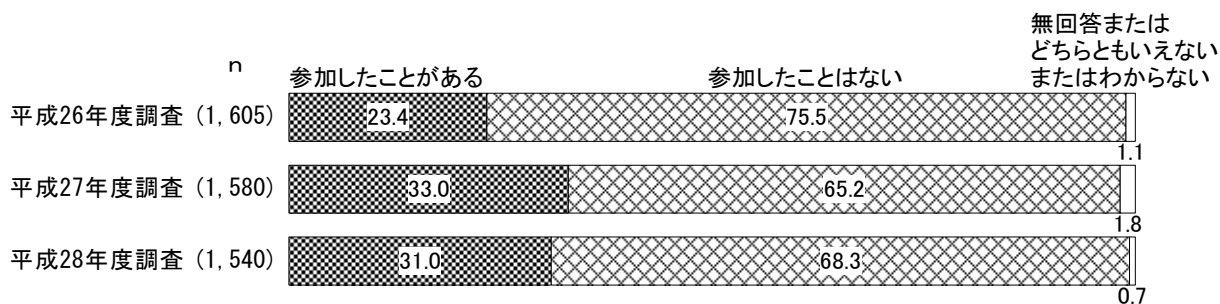
<図表1-24>市民活動団体の活動への参加経験



市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」(5.0%)と「時々参加している」(6.3%)、「参加したことがある」(19.7%)の3つを合わせた『参加したことがある』(31.0%)が3割を超えている。一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」(11.6%)は1割を超えており、「参加したことはない」(56.7%)は5割台半ばとなっている。

(図表1-24)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



【地域別】

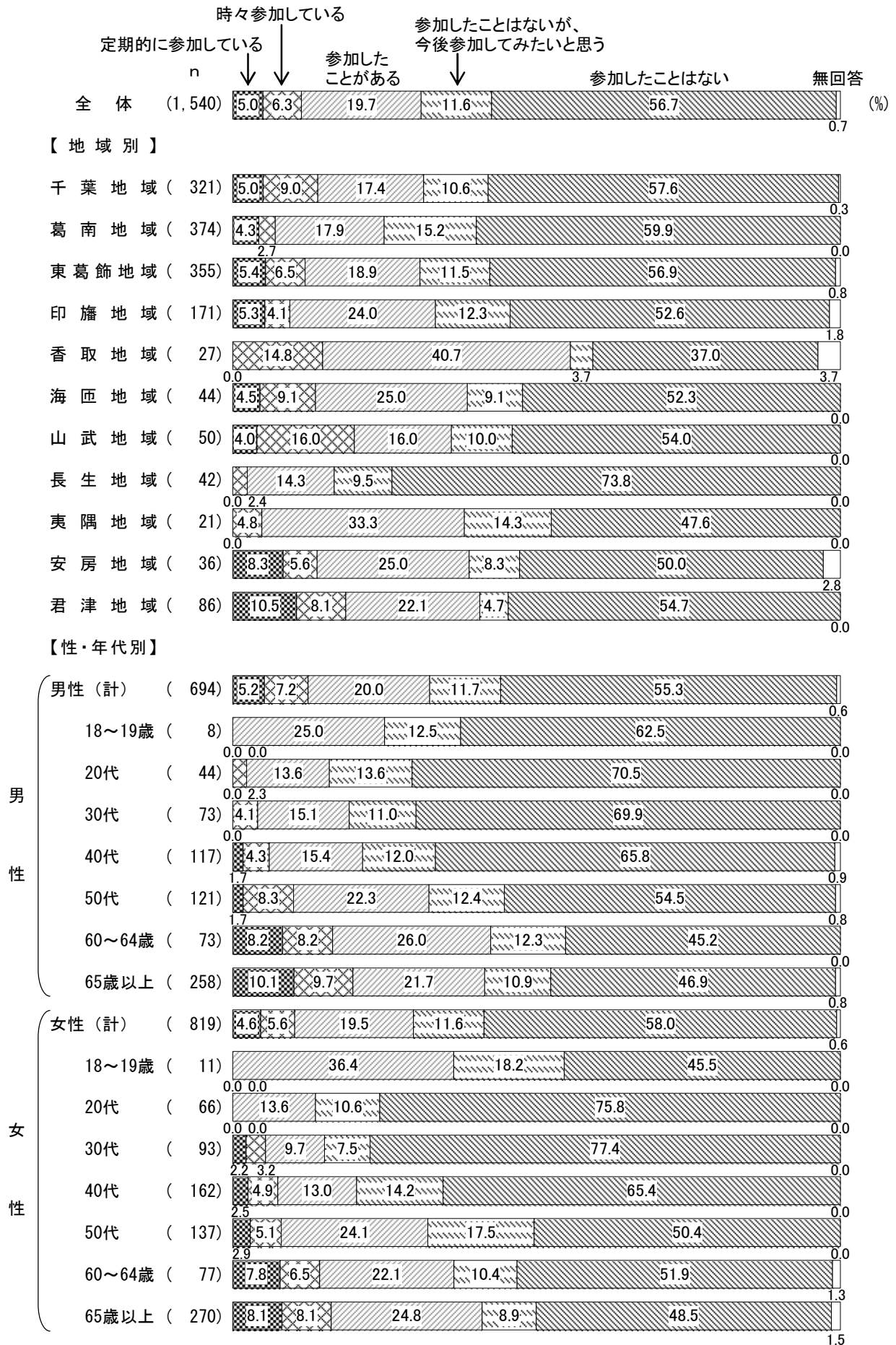
地域別にみると、『参加したことがある』は“香取地域”(55.5%)が5割台半ばで高くなっている。「参加したことはない」は“長生地域”(73.8%)が7割台半ばで高くなっている。

(図表1-25)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加したことがある』は男性の60~64歳(42.4%)、65歳以上(41.5%)と女性の65歳以上(41.0%)が4割を超えて高くなっている。(図表1-25)

<図表1-25>市民活動団体の活動への参加経験/地域別、性・年代別



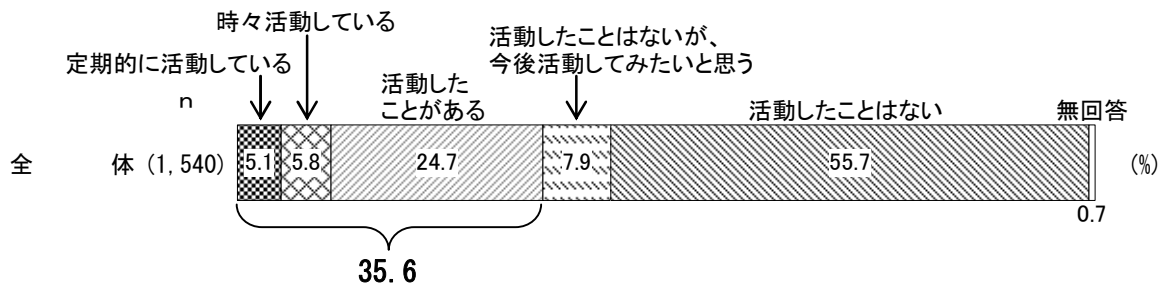
(11) ボランティア活動経験

◇『活動したことがある』が3割台半ば

問11 あなたは、ボランティアとして活動したことがありますか。(○は1つ)

※ ここでいう「ボランティア活動」は、市民活動団体等の活動への参加のみならず、個人が行う地域活動全般を含む、幅広いボランティアとしての活動を指します。

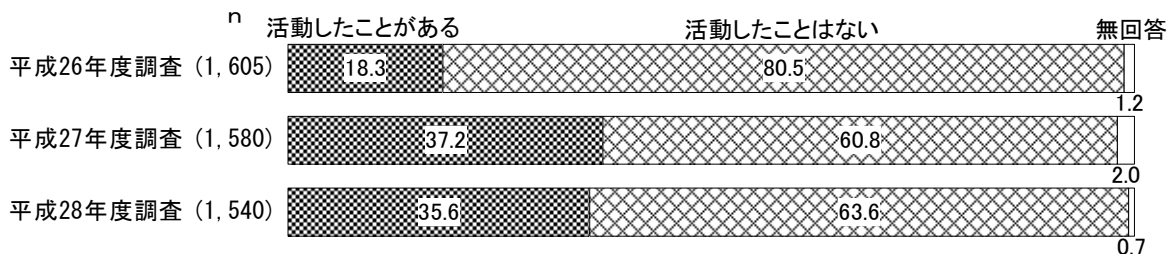
<図表 1-26> ボランティア活動経験



ボランティアとして活動したことがあるか聞いたところ、「定期的活動している」(5.1%)と「時々活動している」(5.8%)、「活動したことがある」(24.7%)の3つを合わせた『活動したことがある』(35.6%)が3割台半ばとなっている。一方、「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」(7.9%)は約1割、「活動したことはない」(55.7%)は5割台半ばとなっている。

(図表 1-26)

【参考】平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



【地域別】

地域別にみると、『活動したことがある』は“香取地域”(59.2%)が約6割、“山武地域”(50.0%)が5割で高くなっている。一方、「活動したことはない」は“長生地域”(71.4%)が7割を超えて高くなっている。(図表 1-27)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「活動したことはない」は女性の30代(67.7%)が約7割で高くなっている。(図表 1-27)

<図表1-27> ボランティア活動経験/地域別、性・年代別

